六稜会報

journal of the RIKURYO alumni association of KITANO HIGH SCHOOL











47

2006.9.1

INDEX

02 会長挨拶、名誉会長挨拶
04 六稜同窓会役員、六稜同窓会学年理事
06 平成17年度決算報告・平成18年度予算
08 東京六稜会　総会・東京六稜倶楽部
11 六稜ギャラリー展示資料　その2
12 事務局だより・トークリレー・六稜文庫
14 母校に還った六稜生
16 会費納入・コンビニ振込
18 同期会紹介
19 PARTY REPORT
20 トピックス
24 文化活動振興賞
25 母校の窓　部活動報告
31 進路状況、教職員異動等

北野の人々



六稜同窓会 会長　山本　次郎（62期）

この間、20何年ぶりかで松本善明さん（57期）にお逢いした。弟の善秀君(62期)から声をかけられ出て行くと、器械体操部の集まりだった。善明さんは小学校から司法研修所までずうっーと一貫してぼくの先輩にあたる（ただ海軍兵学校だけは年齢不足で行けなかったが)。話ははずみ、あっという間に３時間がすぎた。

ぼくらにとって何より強烈な印象に残っているのは、昭和19年(1944)の夏、善明さんが純白の第一種軍装を着装した海兵同期生を大勢引き連れ、北野の講堂にやって来たときのことである。

冒頭、善明さんが長広舌をぶち、続いて何十人が一人一人壇上に立ち、軍帽を机左手におき、一礼をして「貴様らの奮起を望む!　終り!」と大音声を繰り返す。集会の終るころには、元々軍国少年であったぼくらも、これは一刻も早く戦場に行かねばならんと覚悟を固めたものである。しかし、敗戦。生きる目標を失った善明さんは精神彷徨の途上、すでに共産党員であった岩崎ちひろさんと出逢い、ともに戦後の路を歩む。

話を白服から赤服に移す（といっても、明治の徒刑囚の話ではない)。先日、東京六稜会で卓話をした松島みどり君（87期）の赤いスーツのことである。彼女は北野初の女子生徒会長、東大応援部初のバトントワラーズ責任者だったそうだが、いや元気溌剌、票集めの苦労など一向苦労話に聞こえない。赤で想い出したが、卒業式の当日、森南海子君（64期）が深紅のローブで現れたと書いておられたのは、西田驍夫先生（50期）だったか。西田先生といえばぼくらの担任で、元海兵教官。戦後、関学で俸給がよかったのに、鈴木カレヤン教頭から「今の北野は荒廃している。君、母校に帰ってくれんか」と懇望され、月給の安い母校に帰られたという方である。ただし、その差額分は、化学実験室のエチルアルコールが補った、という説もある。

わが同窓会は、奥田亘さん（57期）が筆頭理事のころ、政治、宗教、利権には一切中立という原則を樹てた。そのすぐ後の同窓会総会に松本善明さんが来られ、スピーチをさせないでいたところ、西田先生が「俺は海兵教官だが、海兵を代表するこの逸材に演説させんとは何事か！」と怒鳴り出した。ところがそのとき、うまい具合に中馬弘毅君（67期）が出席していた。そこで執行部は「よし、中馬で中和してしまえ」ということになり、共産党と新自由クラブは中和され、二人は仲良く、多少遠慮気味にスピーチをした。

次に、若いところでは有働由美子君（99期）か。百二十年祭で第九上演を決め、みんなでほっと一息飲んでいたら、ビヤホールに電話がかかり、「何故、第九ですか！」。正解は判っているのだが、仲々難しい質問。可愛いのにジャーナリストになると恐いなぁ」と感じたものである。元気で活躍中の人々の話ばかりになってしまったようだが、北野生は死すとも今なお生きつづけ、伝統を支えている、という事実を最後に一言つけ加えておきたい。

まず、その象徴は、前例のない大不況の中、同窓生のご厚志、ご遺志によって建てられた六稜会館。松村組の得田芳弘社長(71期)。多年にわたる支援者藤田田オーナー（57期)。

旧校舎の弾痕、殉難の碑、文化活動振興賞、いのちの木――これらはいずれも友人の死にはじまり、友人たちの手で残された北野のモニュマンである。モニュマンは北野の魂を受け継ぎながら、緑濃き森影とよく調和したコンクリートの建物とともに、新しい時代の景観を形作って行くのだろう。

ごあいさつ

大阪府立北野高等学校　校長
六稜同窓会 名誉会長　　石本　正明



夏の厳しい暑さが続く毎日ですが、同窓会員の皆様にはお変わりなく、益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は、同窓会の発展はもちろん、母校の教育活動充実のため多大のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

この４月から前任の中垣先生の後を受け、校長を務めさせていただいております、石本でございます。歴代の校長先生方に比べますと如何にも力不足ではございますが、北野高校発展のため私なりに精一杯の努力をさせていただく所存でございます。どうぞ宜しくご理解、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

それぞれの時代に在籍された生徒、教職員の方々の努力が今日の北野高校の評価につながり、お陰様で地域の方々からも「行きたい高校」として温かく見守っていただいておりますが、着任以来ひしひしと感じますことは、本校が多くの同窓生の皆様によって力強く支えられているということです。これが伝統というものかと実感しておりますが、現在を預かる者としては伝統に甘えることなく、急激に変化する時代にあって次の10年を見据えながら、新しい課題に対応すること、新しい試みに挑戦することも必要であろうと考えております。当面は府からの指定を受けておりますエルハイスクール（次代をリードする人材育成研究開発重点校）並びにスーパーサイエンスコースの継承充実に力を注ぎ、「行きたい高校」としての魅力と実績づくりに尽力をいたします。その上で、ご承知のとおり平成19年度から府立高校の学区が34年振りに改編され、現在の１学区と２学区が合併して新１学区となり、より広い地域から本校に志願していただけるようになることを踏まえ、新しく志願できることになる地域の中学生の皆さんにも本校の魅力を十分お伝えし、本校に入学してともに充実した高校生活を築いていけるよう周知を図っていきたいと考えております。

ところで近年、国際的な調査の結果、日本の子供達の学力低下と学習への意欲、取組の姿勢が強く懸念されております。ある調査によりますと、「よく勉強する方だ」という設問に対する答えが、日本の高校生では二割に達しません。「学校以外ではほとんど勉強しない」という設問に対する答えも五割近くになっています。また、「若いときは将来のことを思い悩むより、そのときを大いに楽しむべき」が日本の高校生では半数を超え、「今一番したいこと」も調査対象となった他の国と比べて「好きなように遊んで暮らす」「何もしないでのんびり過ごす」が目立ったということです。ここから見えてくるのは、今さえ楽しければいいという刹那的で、真面目な努力を怠る日本の高校生の姿です。しかし子供は大人社会の鏡ですから、子供達にだけ責任があるのではなく、私たち大人世代が大いに考えなければならないことだと感じます。幸いなことに先の調査でも「成績をもっと上げたい」「努力すれば成績が上がると思う」という設問に対しては、９割に近い日本の高校生がよく当てはまる、やや当てはまるという回答をしています。子供達は努力を否定したり、努力が成果に結びつくことを疑ったりしているわけではないのです。私たち大人がひと押し何かをしてやることができれば、子供達も自分を変えていくことができるに違いありません。日本の社会がややもすれば楽しいことばかりを最優先に追い求めがちな傾向の中で、自分を厳しく律することは易しいことではないでしょうが、北野高生には自分達の自覚を生かして今不十分と感じるところを改め、苦しくても前向きに努力してくれることを期待したいと思います。在校生諸君の成長に向けて、学校としても責務を自覚し努力してまいります。

同窓会員の皆様には、母校とそれを取り巻く状況に思いをお寄せいただき、引き続きご支援を賜りますようお願いして、ごあいさつといたします。

六稜同窓会役員

平成18年６月24日現在

会　　長		山本　次郎（62期）
名誉会長(校長)	(新)石本　正明	
副 会 長		内藤　壽一（61期）
		志甫　　溥（66期）
	(新)山本　雅弘（71期）	
監　　事		枡田　圭児（62期）
		北浦　康弘（71期）
常任理事	(各委員会正副委員長)	
総　　務		木村　市三（73期）
	(副)(新)富田　昌宏（78期）	
財　　務		藤田　秀昭（62期）
会館運営	(代行)邑上治兵衛（68期）	
	(副)(新)奥田　　稔（76期）	
名　　簿		和田　芳郎（80期）
広　　報	(新)岡田　一彦（65期）	
F　　R		千種　康一（88期）
	(副)　鎌田　俊一（81期）	
	(副)　徳岡　浩二（92期）	
	(副)　松田　典子（95期）	
	(副)(新)田村　　亘（103期）	
東　　京		松本　邦宏（70期）
学　　内	(新)出口　　学（94期）	
名誉顧問	(新)稲畑　勝雄（56期）	
顧　　問		大山　利雄（56期）
		丸野　豊子（66期）
事務局長	(兼)(新)木村　市三（73期）	

お邪魔虫にならないように

新副会長　山本雅弘（71期）



昭和34年卒業の71期生です。サラリーマンとして東京勤務が大半だったため、長い間母校や同窓の皆さんとは、ほとんど没交渉でした。そんなわけで最初に六稜の皆さんと旧交をあたためたのは、東京在住の同期の人たちで、それも大阪に戻る数年前、40歳を越えた頃でした。

以来20数年、今は同期の皆さんにとどまらず、先輩後輩と幅広くお付き合いをいただいています。昭和15年～16年生まれで22年に小学校１年生 ── つまりわが71期生は、戦後の新しい教育制度スタート時の新入生です。そして、戦争の恐怖と戦後のひもじさを知っている、いわば"焼け跡"世代の最後の年代でないでしょうか。そのせいか、同期の皆さんは事あるごとによく集まり、よく飲み、よく食べます。つまりは、人恋しく、食い意地の張った元気なオジさん、オバさんの集団です。

かく云う私もその点では皆さんに決して負けないと自負しています。そして、そんな仲間のいることに心が安らぎ、豊かさを感じています。「同窓会」なるものの根っこにはきっとこんな感じがあるんだろうなと思いながら、お手伝いしろと旧知の先輩後輩諸氏から云われ、お引き受けしました。とはいえ、同窓会については全く知識もなく、また時間に追われる仕事をやっている状態で、役員、事務局の皆さんのお邪魔虫にならないか心配しています。

どうぞご指導のほど宜しくお願いいたします。

六稜同窓会学年理事

平成18年6月現在

42期 金子龍一
46期 奥村宗夫
49期 西澤壯介
50期 阿部源三郎
51期 本郷康基
52期 津田禎三
駒田盈郎
54期 稲本満寿雄
55期 渡辺修治
57期 六島昭治
58期 尼崎孝雄
59期 金津博直
60期 和田慎三
61期 下平嘉昭
62期 加藤知彦
63期 國米悖秋
阪田喜英子
64期 足立一郎
北村芙佐子
65期 黒田昌子
66期 北野禎三
水野瑛子
67期 羽尾清
日高穂
68期 大瀬義重
石橋照子
69期 有光友治
名畑由美子
70期 東海林徹
安場耕一郎
高田早智子
71期 岸本博充
仙波真希
72期 南尚三
前川正子
73期 久保禎男
自見依久子
74期 笹川忠士
大倉春子
加藤千恵子
75期 瀬戸川葆
大島美智子
76期 川村恵子
77期 橋本泰明
栄原道子
78期 増田邦夫
石川直江
79期 山田豊実
永田祥子
80期 福武信子
81期 和田多喜子
82期 田中俊明子
牧野和典明
83期 高橋典明
84期 黒田秀也
藤村吉男
奥田聡子
和田登志子
85期 田丸二朗一之
谷藤慶彦
米倉彦悦子
加藤仁
86期 津田くみ子
伊藤洋子
花井水敏
87期 金東野和夫
西山伊穂子
88期 定規弘晃
渡辺也美
谷本明子
横山慶一
89期 美濃隆恵子
矢埜西博昭
90期 大田中康夫
木本圭子
91期 宮田薫
92期 住山真一郎
高橋薫
93期 清重剛男
山本浩司子
赤坂尚征
94期 小野隆久
95期 松本幸郎
96期 西田三治
藤田敬一
98期 北垣栄
99期 神宅謙一郎

100期 中川博文
野澤香代子
101期 林大輔
田中賀子
102期 馬場肇
103期 加藤寿
森山友里江
106期 高岡慎一郎
107期 辰巳孝太郎
平間由起
108期 黒飛一志
吉永佳代
109期 御崎一哉
千草由香
111期 松岡信道
大貫聡子
宮崎未来
112期 稲田祐志
康邨瑛
113期 横尾貴史
戸口田佳奈子
114期 篠原康久
平井祐太郎
青山未奈
玉井さくら
115期 高橋弘樹
福島直樹
犬伏さやか
早川翔子
116期 中井亮
山哲司
阪井万裕紀
服部友紀
117期 安達賢二
脊戸健太郎
増田綾子
三浦美帆
118期 田辺晃悠
洞翔太
栗田あゆみ
千熊英津子

学年理事不在の期（97期・103期・105期・110期）は選出の上、事務局までご連絡下さい。

2005. 4→2006. 3

会務報告+会計報告

平成17年度 六稜同窓会 一般会計【決算報告】

科目	平成17年度予算	平成17年度決算	備考
●収入の部	円	円	
1.入会金収入	954,000	945,000	315名×3,000
2.年会費収入	21,000,000	18,778,000	6,324名
3.総会費収入	800,000	492,000	
4.寄付金収入	1,500,000	1,888,000	内、会館維持協力金　652,000円
5.利息収入	0	262	
6.出版物等売上	800,000	704,215	
8.名簿会計より戻入	53,345	53,345	
収入合計	25,107,345	22,860,822	
●支出の部	円	円	
[1] 運営費	10,300,000	9,324,248	
(1)人件費	2,400,000	2,400,000	
(2)雑給	2,400,000	2,097,540	
(3)旅費・交通費	1,000,000	957,170	
(4)通信費	500,000	435,487	
(5)印刷・事務用品費	1,000,000	581,545	
(6)什器・備品	300,000	235,200	
(7)会議費	100,000	103,614	
(8)総会費	1,500,000	1,329,711	
(9)慶弔費	400,000	325,800	
(10)雑費	700,000	858,181	
[2] 広報費	11,500,000	8,428,958	
(1)WEB関連費	500,000	0	
(2)会報発行関連費	10,500,000	8,428,958	
(3)広報全般経費	500,000	0	
[3] 全国大会出場援助費	300,000	320,000	
[4] 各種事業援助費	500,000	243,229	
[5] 教育環境整備援助費	1,000,000	1,000,000	
[6] 同窓会館関連費	5,300,000	3,635,540	
(1)雑給	600,000	593,068	
(2)旅費・交通費	100,000	48,620	
(3)印刷・事務用品費	50,000	5,943	
(4)什器備品・設備費	2,100,000	1,186,080	
(5)光熱費	1,200,000	1,053,898	
(6)設備管理費	600,000	598,920	
(7)雑費	650,000	149,011	
[7] 予備費	1,211,009	100,000	
支出合計	30,111,009	23,051,975	
本年度収支差額	△ 5,003,664	△ 191,153	
基金会計へ繰入	△ 2,000,000	△ 2,000,000	
次年度年会費前受収入	-	7,958,000	
前年度繰越金	7,003,664	7,003,664	
次年度繰越金	0	12,770,511	

以上の通り平成17年度一般会計報告を致します。
平成18年4月20日　六稜同窓会会長　山本　次郎
上記一般会計報告は正確であることを認めます。
平成18年4月20日　六稜同窓会監事　枡田　圭兒
六稜同窓会監事　北浦　康弘

お問合せは事務局へ御連絡下さい

平成17年度 六稜同窓会 名簿会計【決算報告】

自 平成17年4月 1日
至 平成17年3月31日

科目	(二年度)自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日	(累計)自 平成14年4月 1日 至 平成18年3月31日	摘要
●収入の部	円	円	
1.販売高	490,000	8,472,000	2,068冊
2 広告代	0	320,000	
3 絵葉書売上	28,000	80,500	
4 一般会計より仮受	0	592,255	
収入合計	518,000	9,464,755	
●支出の部	円	円	
1 名簿印刷代	0	6,793,500	シーズクリエイト
2 発送費用	0	861,130	ヤマト運輸他
3 後納郵便料	43,590	560,660	新北野郵便局
4 返信用封筒印刷	0	235,620	ひかり工房
5 振込料	420	945	
6 焼却処分費用	52,500	52,500	1,520冊処分
7 一般会計へ戻入	53,345	592,255	
8 基金会計へ繰入	368,145	368,145	
支出合計	518,000	9,464,755	
本年度収支差額	0		
前年度繰越金	0		

(注) 130周年名簿3月末在庫残高 268冊

以上の通り 平成17年度名簿会計報告を致します。

平成18年4月20日 六稜同窓会会長 山本次郎

本会計の正確であることを認めます。

平成18年4月20日 六稜同窓会監事 枡田圭兒

六稜同窓会監事 北浦康弘

平成17年度 六稜同窓会 基金会計【決算報告】

自 平成17年4月 1日
至 平成18年3月31日

科目	決算	摘要
●収入の部	円	
1 利息収入等	4,894	
2 一般会計より	2,000,000	
3 名簿会計より	368,145	
収入合計	2,373,039	
●支出の部	円	
支出合計	0	
本年度収支差額	2,373,039	
前年度繰越金	29,210,543	
次年度繰越金	31,583,582	

りそな金銭信託・
郵便定額貯金・
農林中金貯金・
三井住友スーパー定期 ほか

以上の通り 平成17年度六稜同窓会基金会計報告を致します。

平成18年4月20日 六稜同窓会会長 山本次郎

本会計の正確であることを認めます。

平成18年4月20日 六稜同窓会監事 枡田圭兒

六稜同窓会監事 北浦康弘

平成18年度 一般会計【予算】

科目	平成18年度予算
●収入の部	円
1.入会金収入	975,000
2.年会費収入	24,000,000
3.総会費収入	540,000
4.寄付金・協賛金収入	1,000,000
5.利息収入	0
6.出版物等売上	800,000
収入合計	27,315,000
●支出の部	円
[1] 運営費	12,770,000
(1)人件費	3,000,000
(2)雑給	3,200,000
(3)旅費・交通費	1,100,000
(4)通信費	500,000
(5)印刷・事務用品費	830,000
(6)什器・備品	600,000
(7)会議費	100,000
(8)総会費	1,340,000
(9)慶弔費	400,000
(10)会費払込手数料	1,150,000
(11)雑費	550,000
[2] 広報費	7,400,000
(1)WEB関連費	500,000
(2)会報発行関連費	
	(47号) 3,200,000
	(48号) 3,200,000
(3)広報全般経費	500,000
[3] 全国大会出場援助費	500,000
[4] 各種事業援助費	500,000
[5] 教育環境整備援助費	1,000,000
[6] 同窓会館関連費	4,400,000
(1)什器備品・設備費	2,600,000
(2)光熱費	1,200,000
(3)設備管理費	600,000
[7] 予備費	3,557,511
支出合計	30,127,511
本年度収支差額	△ 2,812,511
基金会計へ繰入	△ 2,000,000
前年度年会費前受	△ 7,958,000
前年度繰越金	12,770,511
次年度繰越金	0

東京六稜会

田中和明（87期）

第49回総会のご報告

東京六稜同窓会第49回総会が６月１日（木曜日）、東京駅前の日本工業倶楽部で盛大に行われました。連日の雨で天候が懸念されましたが当日は快晴に恵まれ、125名に出席いただきました。ご来賓として大阪から北野高校校長石本正明先生、前校長中垣芳隆先生、六稜同窓会会長山本次郎氏など計６名の学校並びに同窓会関係者のご臨席を賜りました。

本年度の第49回総会は、87期（昭和50年卒）が当番期として全体運営を行いました。従来から慣れ親しんできた総会の運営方針を踏襲しながらも、明るく楽しく思い出に残る総会にしようと、当番期一同は様々な企画を試みました。総会の運営は厳かな中にもできるだけテンポよく、記念講演は87期の誇るエース松島みどり衆議院議員を起用し印象に残る話を、懇親会は六稜生が一体感を持つ事ができるような企画をと、当番期ならではの緊張感と高揚感のなかで、何度も同期会を開催し、事前準備を進めてきました。

【第一部　総会】



第一部の総会は、日本工業倶楽部２階で、午後６時から行われました。総会は、東京六稜会志甫溥会長（66期）の開会の挨拶から始まりました。志甫会長は、挨拶の冒頭で遠路大阪よりお越し頂いたご来賓の方々への御礼を述べたあと、「来年は東京六稜会発足50周年で節目の年になります。これを機に総会の場所や運営方法も見直し、新たな総会にしていく所存です。」との同窓会の活性化へむけた意気込みを語りました。また、「30周年で出席者だけに配られた記念誌に相当する冊子を50周年でも作りたい。」との構想を語りました。

続いて、名誉会長の石本正明北野高校校長からのご挨拶がありました。今年四月から前中垣校長の後任として着任された石本校長は、これまでの北野高校の路線を踏襲しながらも、新たな北野像を作り上げていくことを静かな語り口ながら、しっかりと宣言されました。続いて、六稜同窓会の山本次郎会長（62期）から丁寧なご挨拶がありました。

ご来賓の挨拶の後、東京六稜会事務局の黒岩暎一氏（75期）より、東京六稜会および東京六稜倶楽部の会計報告と第49回決議事項ならびに報告事項の説明がありました。決議事項では、東京六稜会役員の改選で、15名の再任と３名の常任幹事辞任および４名の新任が報告されました。会計報告は、出席者の多数の賛成で承認されました。

【第二部　記念講演】

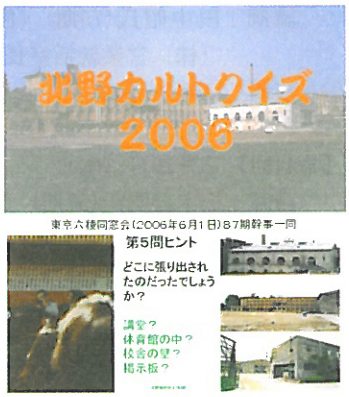
総会に引き続き、衆議院議員松島みどり氏(87期）による記念講演会がありました。連日の重要法案審議の疲れも見せず、「落下傘候補、代議士歴６年に」と題した、衆議院議員になるまでの豊富なエピソードを、軽妙な語り口で語る姿は、北野高校時代に、大手前戦の歓迎の挨拶を大勢の前で堂々と語っていた姿を思い起こさせました。

【第三部 懇親パーティー】

第三部の懇親パーティーは、場所を三階のホールに移して行いました。当日出席中の最高齢の中太郎兵衛氏（46期）の乾杯のご発声により、懇親パーティーが開始されました。

田上（岡）妙子さん、田中和明の87期コンビの司会進行で、ご来賓の方々のご挨拶を頂きました。中垣芳隆前校長のご挨拶は、４年間の北野高校で取り組まれた教育と着実な大学合格者の増加、スーパーサイエンススクールとしての実績などを踏まえた素晴らしいものでした。引き続き鎌田俊一教頭（81期）、同窓会担当の出口学先生（94期）および六稜同窓会事務局長の木村市三氏（73期）からのご挨拶がありました。しばしの歓談の後、87期の総力を結集したアトラクションが始まりました。加幡（山崎）多賀子さんと田中の関西弁コンビが掛け合いで、景品争奪クイズを始めました。題して「北野カルトクイズ2006」です。当日出席の六稜生ならば、

誰でも知っているあの逸話やこの話、聞いた事があるが何だったっけ、という北野に関わるクイズです。「北野の歴代の校長先生は何人？」「断郊競走についてお聞きします。」「87期の我々が、在学中に何故百周年記念式典があったのでしょうか？」等等、珍問奇問が三問択一形式で次々と出題され、参加者は、各期の仲間と激論を繰り広げながら、自分がこれだと思うものを選んでいきます。「校舎の壁にあったグラマンの掃射跡の数はいくつ？」には、「俺は、自分で数えた」と正解を自己申告する方も現れるなど、出席者全員が、久しぶりに北野生の気分に戻って頂けたようでした。断郊競走の十位以内の方には、正解のボーナス点が与えられるなどにより、早々と４問正解で景品を獲得する人や、「俺は最近、北野の歴史を全て調べ直したのだが、その答えは・・」などの抗議がでるなど、和気合い合いの内にアトラクションは終了しました。



引き続き、新たな学生会員（117期と118期）一同の自己紹介と抱負の紹介がありました。ついで、当番期の87期全員が登場し、吉村正直くんから挨拶をしました。87期の記念撮影の後、88期が集合し、楠本佳子氏より来年度総会担当への決意表明がありました。

最後の挨拶は、出席者の最次年長の中村典美氏（49期）による、東京六稜倶楽部への出席のお誘いと最後の乾杯でした。中村氏は、「六稜の星のしるしを」を歌い出され、全員でフルコーラスを歌いました。そして最後のトリは、毎年恒例の応援団の竹村（泉）二郎氏(73期)の登場です。竹村氏の音頭で、もう一度「六稜の星のしるしを」を、全員が肩を組んで歌いました。こうして、出席した六稜生全員の暖かいご協力とご理解で、司会進行で様々なハプニングを起しながらも、懇親パーティーはお開きとなりました。



＝松島みどり氏記念講演会

「落下傘候補、代議士歴６年に」

【松島みどり氏のプロフィール】

昭和50年北野高校卒業(87期)。東京大学経済学部卒業後、昭和55年朝日新聞社へ入社。平成７年の自民党東京都新人公募に応募。平成12年総選挙で比例区東京ブロックで初当選後、３期連続の当選を果たす。現在、自民党経済産業部会長など幅広い政治分野で活躍中。趣味は盆踊りとランニング、北野高校で鍛えた水泳。

【記念講演会内容】

私は、細川内閣により小選挙区制が実施された後の最初の選挙で、立候補しました。当時、全国300の小選挙区に候補者を立てねばならず、東京でも大量の候補を立てる必要がありました。与謝野馨氏がそれだけの候補者を立てるには公募が必要と発案し、自民党担当であった私に声がかかったのです。選挙の結果は、次点でした。初当選まで５年かかりました。

新聞社時代は、自民党のベテラン議員を担当していて、選挙は見聞きしていましたが、いざ自分が新人として立候補するとなると、何から何まで自分でするのです。東京14区から自民党公認で選挙に出たのですが、当時は、落下傘候補と呼ばれました。選挙区で、最初は知り合いが３人という中からのスタートでした。

選挙運動は、顔と名前を覚えてもらうことから始まります。例えば私の選挙区は、墨田区や荒川区です。この地域には、まだ盆踊りが深く根付いています。私は、盆踊りを15曲踊ることができます。盆踊り会場には、どれだけ場違いでも、いつも着ている真紅のスーツを着て出かけます。自分が会場に来ていることを気付いてもらいたいし、顔を覚えて貰いたい。こういう

思いから、いつも同じ色の服を着てでかけます。出かけるときは、自転車でかけます。テレビに出演するのも、区民の皆様に顔を覚えてもらうためです。「あんた、テレビに出ていたやろう。」と声を掛けてもらうことが、また投票者との一体感を作り上げているのです。

こうした選挙運動は、北野高校の厳しかった体育で培った体力と精神力が非常に役立っています。今でも、10キロのロードレースに出たり、水泳で泳いだりすることができるのも、選挙時にどんなに疲れていても、人がいれば走っていって握手ができるのも、北野の体育のおかげです。私は、これからも議員を続け、国政に寄与していく所存です。



予　告
東京六稜会50周年記念総会
2007年６月９日（土）
神田　学士会館において

東京六稜倶楽部　報告と予定

【第38回】２月15日(水)
講師：西尾大次郎氏(66期)
演題：「ブラジル、ユーカリ、ティッシュペーパー」

【第39回】３月15日(水)
講師：佐藤達男氏(75期)
演題：「航空機の安全性～ハイテク機におけるヒューマンファクタ」

【第40回】４月19日(水)
講師：元・駐中国大使
中江要介氏(53期)
演題：「この外交不在はどこから来たのか」



【第41回】４月17日(水)
講師：砂田健次氏(92期/(株)損保ジャパン営業開発第二部第一課長)
演題：「個人情報保護法1周年～あなたの個人情報は大丈夫ですか」

【第42回】６月21日(水)
講師：宇津木紀子氏(91期)
演題：「クリエーターはいかが？」

【第43回】７月19日（水）
講師：田中昭氏(75期)（住友重機械工業（株）営業統括室長）
演題：「中国を知る」

【第44回】８月16日（水）
講師：松本善明氏(57期)（弁護士、元衆議院議員）
演題：「戦争と平和」

今後の予定

時間：いずれの日も11:30～14:00
（開場11:00）を予定
場所：銀座ライオン7丁目店　6階
「ライオン銀座クラシックホール」
東京銀座・松坂屋となり
Tel.03-3571-2590
会費:2,000円

【第45回】９月20日（水）
講師：雫石潔氏(75期)　（JSR株式会社ライセンシング マネジャー）
演題：「今なぜインド?!!～経済発展著しい『BRIC's』その一角を占めるインドの現在、過去、未来」

【第46回】10月18日（水）
講師：土井陽子氏(64期)（脚本家）
演題：「芝居っ気・ドラマ作りを通じて思うこと」

【第47回】11月15日（水）
講師：八木啓代氏(92期)（音楽家、文筆家）
演題：未定

六稜ギャラリー展示資料解説　その２

北野高校教諭　高橋昌弘

⑦堂島旧校舎と職員・生徒（写真）

北野高校の前身の府立大阪中学校が中之島から堂島（堂島浜通3丁目2番地、現在の福島区福島1丁目）に移転したのは明治16年（1883）11月である。以後明治35年（1902）までの19年間を堂島時代という。移転した当時、そこには旧中津藩（現在の大分県中津市を拠点とした８万石の藩）の蔵屋敷が残っていて、その古色蒼然とした建物を改造して校舎とした（ただし雨天体操場だけは新設された）。右下の写真はその校舎の玄関前で撮影されたものである。前から３列目の中央に若い（31～34歳）矢部善蔵校長が写っているので、矢部校長が赴任した明治17年（1884）10月から、校舎改築のために江戸堀北通へ一時移転する20年（1887）9月までの間に撮影されたものと推定される。なお、この蔵屋敷で天保5年（1835）、中津藩士福澤百助の子の諭吉が誕生した。

⑧府立大阪中学校学期試験採点表

（明治18年〔1885〕4月）

本校には他校のものも含めて明治・大正期の試験成績表（いずれも印刷されている）が多数保存されているが、ギャラリーには現存する最古の成績表だけを展示している。この明治18年の成績表の「第二級」（初等中学科第4年第２級）に唯一掲載されている笠原春之助は、本校高等中学科を経て府立大阪医学校に学び医師となった。その他、のちに六稜同窓会設立の中心となる安場禎二郎、陸軍中将となる谷田繁太郎、『プラトン全集』の訳本を出した哲学者の木村鷹太郎などの名が見えている。この成績表に記されている人々は、現在の『六稜同窓会名簿』の第1期前後に名を連ねている方々である。

⑨大阪府立大阪中学校一覧

（明治18年〔1885〕12月）

目次を含めて60頁からなり、印刷されている。沿革略、校図、教則、試験規則、入学規則、生徒心得、職員・生徒の氏名などが記されている。12頁・13頁目は教則の第13条と第14条である。第13条の中に、6月1日から7月31日までは午前6時30分に始業（記録上、始業時刻が最も早いのがこの６時30分である）、正午には終業とある。第14条は各学科授業要旨であり、「一、修身　博ク古今ノ嘉言善行ニ依リ忠孝、節義、廉恥ノ心ヲ感発セシメ務メテ人倫ノ大道ヲ授ケ必之ヲ躬行セシムルヲ要ス」はその一例である。また折り込みの表は学科の課程表である。学科は「修身、和漢文、英語、算術、代数、幾何、三角法、地理、歴史、生理、動物、植物、金石、物理、化学、経済、記簿、本邦法令、習字、図画、体操」の21科目である。

⑩大阪尋常中学校一覧草稿

（明治20年〔1887〕２月調）

⑪大阪尋常中学校一覧略（明治20年6月調査）

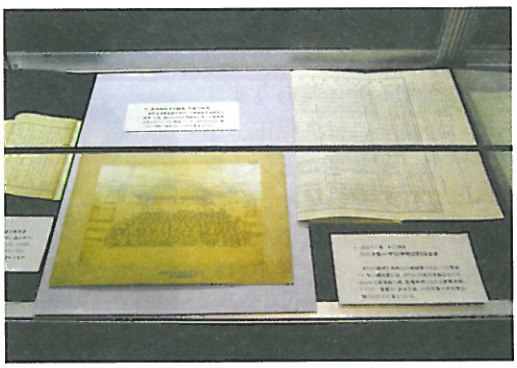
いずれも明治20年当時（明治19年11月に大阪尋常中学校と改称）の教職員の氏名・履歴、学校財産（例えば教員参考図書は4097冊）などが記されている。⑩の最初に「職制及事務章程」とあり、「校長　第一　校中一切ノ事務ヲ幹理ス　第二　教諭以下ノ分科ヲ定ムルコトヲ掌ル　第三　職員ノ勤惰能否ヲ監視シ其意見ヲ具申スルコトヲ得　第四　本校教則其他ノ規則ニ就キ其意見ヲ具申スルコトヲ得」などの文が続く。⑪では矢部善蔵校長の詳細な履歴も記されている。それによると矢部校長は嘉永5年（1852）に遠江国（現在の静岡県）で生まれ、掛川藩の藩校、英学校で勉強したのち上京して慶応義塾に学んだ。学歴・職歴は全て『北野百年史』に掲載されている。

⑫校舎落成記念写真（明治22年〔1889〕）

⑬堂島新校舎落成記念運動会（明治22年）

⑭堂島新校舎（中之島から撮影）

大阪尋常中学校時代の明治22年４月３日、旧校舎の跡地（堂島浜通３丁目）に洋風の新校舎が完成し、落成式が挙行された。落成記念写真の最前列中央に矢部善蔵校長、その右隣に外国人教師のワイコッフ（米国）が写っている。当日、本校最初の陸上運動会が開催された。大阪で実施された運動会の写真としては最古のものではないだろうか。



事務局だより

新事務局長ごあいさつ

木村　市三（73期）

この４月から65期の岡田一彦さんの後を受けて、同窓会事務局長に就任しました73期の木村市三です。

六稜同窓会には、1980年頃に同期の梶本興亜さんの後任として、常任理事を仰せつかり、1994年の東京転勤までの10年余りを務めました。その後、東京での10年足らずを東京六稜会でも常任幹事を務めさせて頂きました。

大阪に戻った２年前の2004年から再度常任理事として、総務委員長をお受けしておりました。この３月に、２年の任期満了と勤め先からの退職ということで、同窓会の役員を終えることにしておりましたが、会長をはじめ役員のみなさんからの強い要請で、事務局長をお引き受けすることとなりました。

北野時代は野球部に所属しておりました。マネジャーとしての三年生の夏は、一回戦不戦勝ち、二回戦は対池田高校にノーヒットノーランで快勝、三回戦は大鉄高校に２－６で敗戦という成績でした。この年の大阪大会の優勝校は、怪童尾崎行雄投手を擁して、全国優勝を成し遂げた浪商でした。こうした北野の思い出だけは、今でも鮮明に覚えております。

わたしはかねてから、時間の許す限り三つの恩返し、つまり、学んだ母校への恩返し、勤めた会社への恩返しそして住んだ地域への恩返しをしようと考えておりました。

同窓会の役員として、六稜同窓会には永く携わってきましたが、事務局長をお引き受けした限り、同窓会と母校への恩返しのため、その任務を全うする所存であります。



幸い事務局には久保田、小林、橋本、花井さんという熱心なスタッフがいます。このみなさん方の協力を得て、務めようと思っていますので、同窓の皆様方には、更なるご指導、ご支援を切にお願いする次第です。

理事会報告

■平成17年10月22日（土）
- ○132周年総会についての説明
- ○会館補修、地下展示ケース購入説明
- ○会報45号新企画説明と46号原稿依頼
- ○FR委員会企画報告

■平成18年２月18日（土）
- ○山本会長留任が決定
- ○顧問任期の会則一部追加、会長経験者は終身名誉顧問となる
- ○年会費払込にコンビニ導入を決議、承認
- ○132周年総会報告、133周年総会準備について
- ○会報46号発行報告
- ○東京六稜会プロジェクター購入補助

■平成18年６月24日
- ○平成17年度決算報告、平成18年度予算承認
- ○副会長に71期山本雅弘さんが就任
- ○133周年総会詳細説明
- ○FR委員会活動報告
- ○国際交流基金選考新委員に財務委員長の藤田秀昭さんが決まる
- ○北野高等学校文化活動振興賞（八木彰一郎賞）の62期から同窓会への事務移管が決まる
- ○全学年理事に各期の不明者名簿と年会費納入状況を配布し、協力を依頼

同窓会事務局の仕事を手伝っていただけませんか

事務局では次のスタッフを募集しています

◎　事務局員として　月、水、金および土、日に、交代で勤務可能な方

◎　土、日に六稜会館で行われるイベントのお手伝いをしていただける方

お問い合わせは同窓会事務局までお願いします

トークリレー

【第27回】２月４日
「ゲノム創薬とテイラーメイド医療の現状～抗癌剤開発を中心に」
玉沖達也氏(78期)

【第28回】３月４日
「声楽室内アンサンブルの楽しみ」
コロ・スペランツァの皆さん

【第29回】４月15日
「手塚治虫は六陵人!?～無視できない手塚治虫史のウソ」
岩倉哲也氏（教職員）

【第30回】５月13日
「25歳の挑戦～こどもとおとなをつなぐために」
松岡信道氏(111期)

【第31回】６月３日
「250年のモーツァルト」
門　良一氏(70期)

【第32回】７月１日
「『白い巨塔』今は昔～混迷する日本の医療は…」
黒田秀也氏(84期)

【第33回】８月５日
「爺の遺言～戦争に捧げたボクらの青春」
三砂栄次氏（48期）
津田禎三氏（51-53期）

今後の予定

【第34回】９月２日
「眼の健康管理と治療法の最前線」
藤本可芳子氏（92期）

【第35回】10月７日
「医学の進歩に伴う昔の常識、今は非常識」
黄　泰平氏（91期）

【第36回】11月11日
「いのちの言葉」
道浦母都子氏（78期）

六稜文庫

（６月末までの受付分）

中原孝三（62期）著
『どこへ行く　サムライ日本』（記載なし）

福井栄一（97期）著　『子どもが喜ぶことわざのお話～面白小ばなし50選』（PHP研究所）

前間孝則（45期）著　『戦闘機屋人生～元空将が語る零戦からFSXまで90年』（講談社）

安井昌子（88期）共著　「ムーミンゼミ」編『ムーミン童話の百科事典』（講談社）

首藤明和（101期）著
『中国の人治社会』（日本経済評論社）

岸田知子（78期）著
『空海と中国文学』（大修館書店）

玉田裕子（94期）著　『フルール～とこしえに善き春の物語～』（新風舎）

原田美禰子（65期）著
『五行歌　風の囁き』（新風舎）

山崎　馨（旧教員）著
『古京逍遥』（和泉書院）

62期会（62期）著
『六月十五日の記憶～「一里塚」抄録』

永井泰子（91期）著
『きみにありがとう　零下40度のシベリア捕虜集要所で交わした約束』(㈱グラフ社)

梶山彦太郎、市原実　共著（65期）著
『大阪平野のおいたち』（青木書店）

前間孝則（45期）著　『戦闘機屋人生～元空将が語る零戦からＦＳＸまで90年』（講談社）

北村学（41期）著
『竹外二十八字詩評釈』（大阪全国書房）

長崎知恵子(64期)著　『鶏窓　長崎隆英遺稿集』（長崎隆英遺稿集刊行会）

倉光成紀（80期）著
『生物学が変わる!?ポストゲノム時代の原子生物学』（大阪大学出版会）

小城勝相（78期）著
『生命にとって酸素とは何か？生命を支える中心物質の働きを探る』（講談社）

【ムーミン童話の百科事典】紹介文
「ムーミンというと、日本ではアニメのイメージが強いのですが、実は大人にとってもけっこう意味深いものがあることを、この事典を通して知ってもらえたらと思います。
老人の問題、精神的な問題等々を扱っている物語もあるので、(そのあたりの検索を事典を通してしてもらえれば）ちょっと心に余裕のあるときに一度ムーミンの世界をのぞいてもらえると嬉しいです。」

安井昌子（88期）

母校に還った六稜生

昔と今の北野を繋げる

加藤悦子（85期）

今から10年前に北野高校に赴任してきた。まだ旧校舎で、通用門の並木道も、グランドの大きな二本の楠の木も、玄関前から講堂へ続くあたりのハイカラな雰囲気も健在だった。教室の扉も黒塗りで、木製のどっしりした机や棚も現役だった。1970年当時は、まだ被服室廊下側の窓に鉄格子がはまっていた。戦時中にミシンを盗まれるといけないからと聞いた。



はじめてのグラマーの時間だった。K先生は黒板に英文を書かれると「これは第何文型だ。」と質問された。文型などほとんどわからなかった。指名されないようにとびくびくしていたら、何人目かにさっそうと答えた生徒がいた。その時「君はどこの中学出身だ。」「豊中○中です。」「そうか、やっぱりな。」という会話が交わされた。サイドリーダーではF先生の流暢な英語と華麗な翻訳を聞きながら、ジェームズ・カーカップの「Japan Now」を読んだ。

遠足に大阪で開かれた万博へ行った。現地集合で点呼が終わるとすぐに解散し、あとは何をしようと自由だった。まだ友人も少なかったので，出席番号の近かった人と、同じ中学出身の友人と４人で万博見学をした。夏休みはバレーボール部の合宿で旧図書館（現在の会議棟あたり）の二階に畳を敷いた宿舎に寝泊まりした。練習があまりにも厳しく、何度か逃げだそうと思った。その時みんなで一緒に行ったのが、今もまだある「塚本温泉」に違いない。

近頃、偶然に、美術準備室で歴史的資料を発見した。北野歴代の文化祭パンフレットの綴りである。1969年の講演は医学博士手塚治(ママ)氏「日本人と映像文化」、英語劇はC.ブロンテの「Jane Eyre」、演劇部は安部公房「赤い繭」、弁論部「安保」、書道部は席上揮毫。クラスの展示の中に「大日本夜店史」あり。1970年の演劇部はシェークスピアの「真夏の夜の夢」。1971年の第24回文化祭は６月20日。記念公演は山根徳太郎氏。書道部は「席上書き」に。フォークソングを歌うクラスも出現。物理研究部は「あなたとエレクトロニクス」、社会科学研究部は「沖縄－その問題点」教室展示。わがクラスは「暗中模索－そのとき彼女に何が起こったの」。今思い出すに313教室という、P字型校舎のPの字の角にあたる教室にお化け屋敷を作るという企画だった。試しに入ってみて怖くて泣きそうになった。



私の記念すべき北野グッズは、おそらく３年生で使った英語の教材、通称「たつのくち」(「英文解釈読本応用編　龍口直太郎著　開隆堂)。自宅の本棚にひそかに残しておいた。苦労の結晶が集約されているようでどうしても処分できなかった。すっかり赤茶けていて、古めかしい装丁がいかにも年代を感じさせる。ちょっと引用してみると、

Ｎｏ.９　関係代名詞の what は比例の意味に使われることがある。31. Reading is to the mind what exercise is to the body. As by the one health is preserved and strengthened, so by the other, virtue (which is the health of the mind) is kept alive and cherished.

高校時代にこの構文をならった記憶はすっかり消えているけれど、赤鉛筆と青鉛筆を使い分けてアンダーラインを引き、確かに勉強した形跡がある。本の余白に、けなげにも一日一題とか書き込んでいた。とにかく難しくて苦労したが、英文読解を、まるでパズルを解くかのように解き明かす楽しみがあって実は好きだった。思い出せることが少なくて、文化祭の資料を繰りながらも、北野生でありながら北野のことはあまりよく見ていなかったことに気づく。生徒として北野を見るチャンスはもうない。

之を知るは…之を楽しむに如かず

的場栄子（86期）

「北野高校はええで。食堂でたこ焼きまで売ってるで。」中学３年の時の担任のこんな一言で背中を押されたとは、我ながら情けない。

高校に入学するや忙しい生活が始まって、当時、ティールームと洒落た名前で呼ばれていた食堂でゆっくりメニューを物色する暇もなかった。初めての数学の授業では１時間で20数ページも進み、夜中までかかって半泣きになりながら、問題を解いた。

授業はどれもレベルが高くスピードも速かったが、それ以上に戦いたのは、体育の授業だった。運動はどれも不得意だった私は、二重跳びの課題を聞いて仰天し、断郊競走の途中で心臓麻痺を起こすに違いない、と本気で心配した。入学後の一ヶ月は二重跳びの練習で暮れた。学校だけでは足らず、夜中に家の前の道路でこっそり練習した。ある夜、生まれて初めて二重跳びに成功した時のうれしさは、いまだに忘れない。体育には三年間ずっと泣かされたが、そのお陰で、卒業する頃には少し体力に自信を持つようになり、大学では卓球部に入部してしまった。北野の体育がなければ、一生、運動部には縁がなかったに違いない。



教師になってから、北野でのこの経験を、新入生を激励する際によく使わせて頂いた。「人間の可能性は無限だ、という言葉に一番近づけた気がしたのは、高校時代の３年間だった」と。教師の目で見ても、高校生の３年間の成長は目覚ましい。まだ、あどけなさの残る新入生から大人の面差しへ、と。わずかな年月で見違えるように変貌する彼らを見ていると、その伴走者として襟を正さねば、という思いに駆られる。何のことはない。私は彼らを教えているのではなく、教えられ、元気をもらっているのだ、といつも感じる。せめて私にできるのは、彼らが自分の可能性に線引きをしてしまわないように、見守り励ますことぐらいである。

北野でもう一つ教わったのは、学問の楽しさであろうか。単なる受験の為の勉強を越えた深い、専門的な内容を、どの教科の先生からも教えていただいた。授業だけではない。私はオーケストラ部に入っていたが、そこでも先生や先輩方からスコアの読み方を初め、音楽の話、人生の話、色々なことを教えていただいた。また、優秀で愉快なクラスメート達から教わったことも数知れない。学びの場は色々な所にあり、学ぶことは苦しいことではなく楽しいことだった。その思いに支えられて、あれから四半世紀に渡る歳月、教師を続けてこられたのかもしれない。



昨年、縁あって、北野高校に戻ってくることになった。学校の佇まいは大きく変わったが、変わらないことも多い学校だ。生徒達はあの頃とあまり変わらぬ制服や体操服に身を包み、縄跳びや数学の追試に悲鳴をあげ、たまのブランクを楽しみにしている。（自習のことをブランクという高校は、いまだに他には知らない。）だが、一番変わらないのは、切磋琢磨して自らを磨き、自分の可能性の極限を追求する彼らの目の輝きだろう。この、一年半の間でも様々な場で、彼らの輝きを見ることが出来た。授業の時はもちろんのこと、ＳＳ（スーパーサイエンス）クラスの研究発表会、体育大会の仮装のダンス、文化芸術祭でのすばらしい合唱や展示の数々、水泳大会の熱気、六稜祭での音楽や演劇の熱演、自分たちの力で経営する模擬店、などなど、語り尽くせないほどの姿が浮かんでくる。「之を知る者は之を好む者に如かず、之を好む者は之を楽しむ者に如かず。」 孔子の言うように、単に知識を得るだけではなく、そのことを好きになり、楽しむ中で人間の本当の力は湧いてくるのではないか。それを体得しているような高校生たちの姿は見ていても楽しい。願わくは、教室の中でも、受験勉強の中でも、その「楽しみ」を伝えられるようになりたいと思う。

北野の食堂ではたこ焼きは終に見つからなかった。だが、それ以外のすばらしいものを私は今も発見し続けている。

コンビニでも払込めます！

年会費のお支払いは、従来、郵便局のみの扱いでしたが、若い方々のご要望にお答えして、この9月よりコンビニエンスストアでも、払込みが可能になりました。年会費の納入をよろしくお願いします。

用紙説明

① 郵便局払込用紙
　年会費と総会懇親会費やグッズのご購入
② コンビニ用払込用紙　平成17年度年会費のみ
③ コンビニ用払込用紙　平成18年度年会費のみ

②③は金額修正が出来ません。
既にお支払済の方には、納入済と記載しております。
年会費と総会懇親会会費を一緒に払込まれる方は、郵便局払込用紙を、ご使用ください。

様

049-198



a900000000034a

7月末現在の払込データで作成しています。

郵便局用払込用紙（年会費と総会費・グッス代金の振込、又は年会費のみの方）



02 大阪　払込取扱票　通常払込料金 加入者負担

口座番号 00990-4　金額 6802 5

加入者名 六稜同窓会　料金　特殊取扱

年会費
- ●平成17年度・年会費 ¥3,000 … 1000
- ●平成18年度・年会費 ¥3,000 … 2000
- ●137周年懇親会費 ¥2,900 …

その他・申込　記載 数量 申価 ① × = × =

送料は不要です（同窓会負担）　総合計

通信欄

払込人住所氏名　001-0011 札幌市北区北十一条西 4 北野　一郎　様

049-198

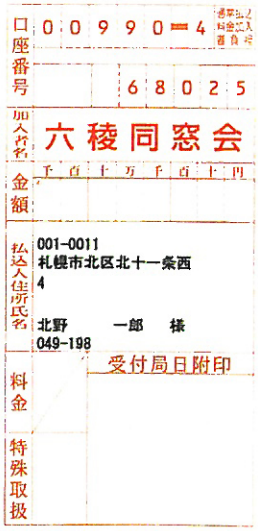
受付局日附印

（私製承認大第9135号）

これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないで郵便局にお出しください。

払込票兼受領証



口座番号 00990-4　金額 6802 5

加入者名 六稜同窓会

払込人住所氏名 001-0011 札幌市北区北十一条西 4 北野　一郎　様

料金　特殊取扱

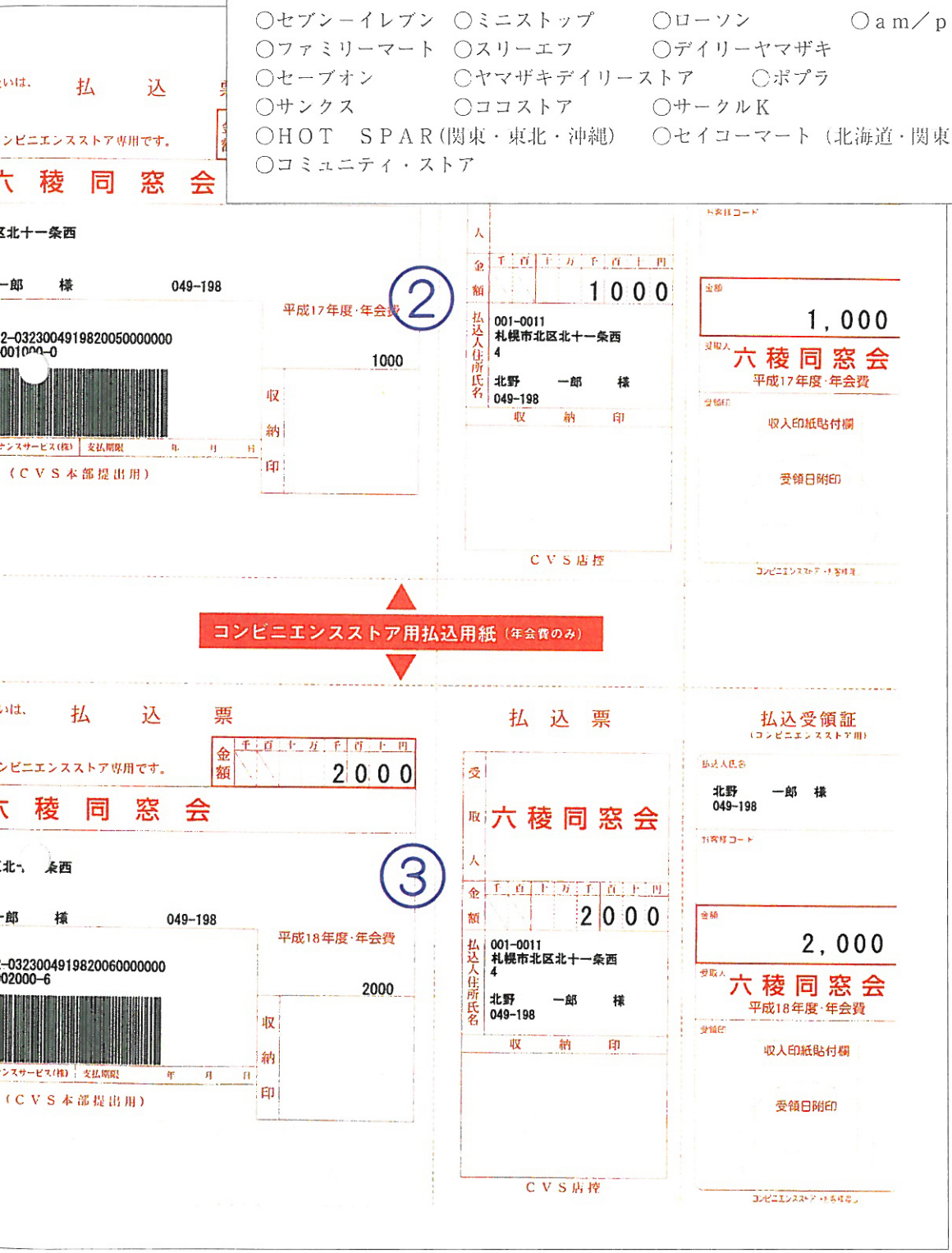
049-198

受付局日附印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

以下のコンビニエンスストアで払込みが出来ます

○セブン－イレブン　○ミニストップ　○ローソン　○ａｍ／ｐｍ
○ファミリーマート　○スリーエフ　○デイリーヤマザキ
○セーブオン　○ヤマザキデイリーストア　○ポプラ
○サンクス　○ココストア　○サークルＫ
○ＨＯＴ　ＳＰＡＲ(関東・東北・沖縄)　○セイコーマート（北海道・関東地区）
○コミュニティ・ストア



同期会紹介

“北野59期四年四組副組長 藤原良章君　追悼の記”

小林辰夫（59期）

終戦60周年に当る平成17年には、全国で様々な祈念の催しが行なわれました。

北野中学史上唯一の四年卒業生である私達は、終戦の年三月に卒業した後も、各自異なる進学先を持ちながら通年動員という非常時制度のもと、北野中学校長の指揮下にあって、軍需工場で働いていたのです。四年四組の内約30名が、平田先生と共に、淀川をはさんで母校の対岸に位置する日本ペイントで、飛行機迷彩用塗料などの生産に励んでいました。

大阪市の中心部が焼失した３月13日夜の大空襲以降、小康状態だった大阪地方の空襲が再開され、６月７日に日本ペイントは先ず焼夷弾を見舞われ、次いで、消火活動をしている我々の頭上に、瞬発信管付き人馬殺傷用の小型爆弾が降ってきました。高等小学校を卒業したばかりの、やっと15才の女性数名を含む十余名の社員が命を落しました、第三高等学校に合格していた藤原君は瀕死の重傷を負い、加納君、三橋君も重傷を負いました。

塗料工場には引火物が満ち満ちており、ドラム缶が火を吹きながら次々と空中に飛び上がり、消火活動や救護に活躍する人々は疲労困憊し、構内の人影もまばらになり、言葉も無く横たわる藤原君に付き添う者は平田先生と私だけとなりました。

先生が前、私が後ろで担架を持ち上げ、油だらけの通路をよろめきながら脱出しました。その後、級友達が阪大病院へ運んでくれましたが、藤原君は還らぬ人となりました。

日本ペイントで60周年の慰霊祭が行なわれるのであれば、参列しようと思い、問い合わせましたが、予定はないとのことで諦めていたところ、広報の方から、〝級友が藤原君の追悼会を行なうことに協力したい〟との申し出があり、会社としては全く予定外の行事を、ごく短期間に案内状の発送や当日の準備まで、申し分ない手配が得られました。

当日は思い出の地に、級友12名が集まり、日本ペイントからは藤井会長・木本部長も臨席され、片岡課長の司会で、フォーレのレクイエムのメロディーが流れる会場で、心のこもった追悼ができたことを喜んでおります。

その時、日本ペイントでは五年毎に〝先人物故者追悼法要〟を営んでおり、直近では翌平成18年に執り行なわれると聞きました。できれば参列したいと思っていましたところ、お誘いがあり、五月雨でしっとり濡れた京都八幡の円福寺へ参上いたしました。 法要は万事が行き届いた、心のこもった行事であり、とりわけ松浦社長が直々に〝動員学徒の藤原君が61年前に空襲の犠牲になった事、それは日本ペイント125年の歴史に於いて、忘れてはならない出来事である事、学友が参列している事〟を満座に紹介して下さいました。

記念写真撮影後の茶菓の席では、あまたの客人をさておき、私の隣席に座られ、当時の模様を熱心に問われるなど、当方が恐縮する程でした。 尚、藤原君の御遺族は当日参列されませんでしたが、社長宛に丁重な礼状が届いており、以前に法要に出席されたこともあると聞きました。日本ペイントの行き届いた配慮に、感銘をうけた一日でありました。

さて、私達は60年間にやっと２度ながら追悼会を行ないました。日本ペイントさんでは五年毎に回向して下さっています。加納君の調査によれば、広島の原爆ドームから僅か離れた所に高さ12mの動員学徒慰霊塔があり「間違いなく藤原良章氏は祀られている」とのことであります。また、私は「動員中の犠牲者は戦死の扱いをうけ、靖国神社に祀られる」と聞いた記憶があります。それに間違いなければ、首相の拝礼を期待できます。ところで、北野では公式の慰霊行事が行なわれているという話を聞きません、当時は生徒に対する生殺与奪の権を校長が握っていただけに、疑問を感じるのは私だけでしょうか。



日ペにて、朝比奈　阿部　奥野　加納　小林
竹下　田村　角井　楢崎　西田　西出　松本

PARTY REPORTS

通期行事（六稜人すべてが参加できる行事）、同期会、
各種行事のジャンル別に掲載しています

52期の古強者　健在なり！

澤田麗荘（52期）

我ら五十二期・昭和十四年卒の同窓会は、故木村インド恩師によって、〝伍仁会〟と命名され今日に至っている。あたかも先輩五〇期のそれが、〝互励会〟と称するが如きである。そして隔月に梅田阪神地下の〝ドライ阪神〟に集い、八十余才の老紳士達が盛んに熱を上げている。偶々一同で母校の新しい同窓会館を訪ね、そこで往時を語ろうではないかと云う事になった。

雨の降る日、十三の駅からの道は久しぶりであって、僅々八百米の所を、脚が痛いからとタクシーで来たもの、あの道この角を辿りつつやっと着いたひと、むかしのどぶ川はなかったとこぼすものも居た。



例会はまず一同で菊地徹兄と吉川保兄のご逝去に黙祷を捧げ、駒田会長より〝老人骨折〟の恐ろしさにつき講話あり、津田世話人代表より〝本日はこの同窓会館で、心ゆくまでやろう〟とハッパがかけられた。西海君、乾杯の音頭をとって会館での処女例会が始まった。この日は全員がマイクを握り、過ぎし日を懐かしみ、今の日常を思い思いに吐露したのである。ドライ阪神では校歌を怒鳴り、万歳三唱もやるわけには行かない。ここは天下御免、一同の声で会館は震動した。

ここでの開催には事務局の久保田静さん（73期）が特に出勤されて、校内のあちこち、機銃の弾痕、地下展示場の寄金者銘板などをくまなく案内された。平日授業中のため、中には入れなかったが伍仁会一同心からの感謝の意を表する次第である。

六稜65期総会
～今年も華やかでした

新原章弘（65期）

今年の65会総会は、４月28日、素晴らしい快晴のもと、木々の緑に彩られた神戸市「相楽園会館」で、今年も多数の出席を得て盛大に開催されました。

65期は昭和28年（1953年）の卒業です。

二年前に私たちは古希を迎えておりますが、今年で卒業53年となります。

いま65期では総会を毎年開催としており、その総会には毎年100名を超す出席を得ております。年を追うごとに更に若さを増し（？）、目を見張らせるような方々の出席で、例年華やかに、そして和やかに開催が出来ているのはまことに嬉しいことです。

65期の総会運営については、今年から趣向を変え、運営担当を卒業時のクラスでの輪番制としましたが、先ずは卒業時の１組の皆さんが、プランから実行までの総合運営を引き受けてくださいました。

「相楽園」はご存知の方も多いと思いますが、元神戸市長小寺謙吉氏邸であったものを、神戸市に譲渡され、いま春秋二回一般公開されている日本式庭園です。

65期生がお世話になりました恩師の多くが既に鬼籍にお入りになっておられますが、今年の総会にも例年のように、稲葉憲一郎先生、山崎馨先生、小池美代子先生がお元気にご出席くださいました。

総会は小池美代子先生と三浦徳子さん（65期）の「須磨琴のしらべ」でまことに優雅に幕が開かれ、お二人の演奏に出席者全員の感激は一入でした。



また稲葉、山崎両先生のご挨拶は在学時代にもましてのこころをうつ暖かいものであり、全出席者の胸に深くひびくものでした。

総会の愉しさはとても紙面では表しきれませんが、毎年同様まことに賑やかに盛り上がり、限られた数刻での歓談では到底語り尽くせぬ余韻をのこしたまま、来年の再会を約してのお開きとなりました。

このように初めての試みとして輪番での世話を、胸を張って引き受けてくださり、K君を先頭として大成功を作り上げていただいた１組の皆様に、こころからの御礼を申し上げます。

トピックス

ドルメンの伝える神話

元教諭　佐野　哲郎(61期)

アイルランドには、ドルメンという新石器時代の遺跡があちこちにある。石でできた墓なのだが、昔から、「グラーニアの寝床」と呼ばれてきた。自分の夫となるはずの人を袖にして、その家来と駆け落ちした神話の女がグラーニアである。逃避行を重ねるうちに、こんなところにも寝ただろうという、彼女に寄せる人びとの思いがこの名を生んだ。4年前、私たちは「アイルランド自然と歴史の旅」と銘打って、68期の卒業生を中心に、総勢39人でアイルランドを訪れた。そのとき、私は荒涼としたバレン高原のドルメンの前でこの話を紹介した。それから2年、六稜会館で月に1度開いている「ケルト神話を語ろう」の講座で、もう1度、今度は詳しくこれを語ることができたのは、幸せだった。


クロンマクノイズ修道院跡

私の講座はアイルランド神話が中心である。この神話のなかで一番不思議なのが、トゥーアハ・デ・ダナンという種族である。彼らは今のアイルランド人の祖先たちがこの島へやって来たときの先住民だったとされているが、実は、彼らはケルト人が信仰していた神々だったらしい。アイルランドは5世紀からキリスト教化して、口伝えの神話を文書に残す仕事も、キリスト教の修道院で行われたことが、神話のかたちを大きく変えることになった。異教の神々であったトゥーアハ・デ・ダナンが、神という名を奪われてしまったのだ。神話では、彼らは戦いに負けて、地上を追われ、シーという塚へ逃げ込んだと言われている。これがドルメンである。今ではむき出しのものも多いが、昔は土で覆われていただろうから、住処としては格好だったろう。


バレン高原のドルメン

ここで思い出すのが、古事記のこと。神武東征譚で、熊野に上陸した神武たちの前に、泉や、山の穴のなかから出てきた者たちが、国つ神と名乗り、臣従を誓う。つまり、トゥーアハ・デ・ダナンは国つ神なのである。日本の国つ神が現代まで生き延びて、地鎮祭のときに現れるように、アイルランドの国つ神も、塚に潜り込んで生き延びた。その結果、シーを舞台としたさまざまな物語が伝えられてきた。数あるシーのなかでも、一番よく知られているのが、ニューグレンジである。これはボイン川のほとりにあり、はじめにここに住んだのが、竪琴の名手である一方、けた外れの大食漢として知られた王ダグダであり、その次に住んだのが、その子で愛の神として人気のあるアンガスであった。百年前に出版された本に、このシーの写真が載っている。生い茂った草のなかにぽっかりと不気味な穴があいていて、その前にびっしりと渦巻き模様を彫り込んだ大石がおいてある。異界と現実界とを隔てる呪術であるかのようである。40年前にここが整備されたときにも、渦巻石は正面におかれた。今では毎日行列のできる観光名所となったが、かつての不気味さはまったく消えてしまった。


現在のニューグレンジ

佐野先生は、毎月第3金曜日六稜会館で、ケルト神話のお話をしていただいています。

須磨琴のこと

小池美代子（旧教員）

昭和24年から26年３月迄、北野高校で家庭科の教員としてお世話になりました。現在は、神戸の須磨寺に伝わる須磨琴の保存伝承、発展の為に、微力ながら力を尽くしております。今春六稜65会同窓会で、須磨琴の演奏をさせていただいたのが縁で、須磨琴について書かせていただくことになりました。



須磨琴は一絃琴とも呼ばれ、一枚の板の上に一本の絃を張っただけの、きわめて簡素な古典楽器です。

今から千百有余年の昔、中納言在原行平卿が須磨の地に流された時、渚で拾った板切れに冠の緒を張って琴を作り弾いたのが始まりと伝えられています。

江戸後期、覚峰律師が復興し、明治前半頃迄愛好されていましたが、次第に衰微し太平洋戦争後には須磨琴という楽器の存在すら多くの人が知らないという状態になっていました。須磨寺前管長小池義人和尚（25年～28年北野高校教諭）は、発祥の地であり又、中興の祖覚峰律師が自作、奉納した現存最古の須磨琴を保存している須磨寺で、是非この琴を復興したいと願い、昭和40年1月須磨琴保存会を設立しました。

65会の三浦徳子さんも入会、当初は会員十人のささやかな会でした。歌詞の理解を深める為、山崎馨先生（26年～38年北野高校教諭）に古典の講義をして頂いたりして保存活動をしていましたが、珍しい楽器の復活ということでマスコミに取り上げられ、各テレビ局に出演、次第に人に知られるようになりました。

そして47年、ＮＨＫ大河ドラマ「新平家物語」の放映。須磨寺は平家ゆかりの寺なので観光客が急増、私たちは神戸市の要請を受けて、史跡めぐりバスの乗客に連日須磨琴を演奏することになりました。

乗客のアンケートで多くの方が「須磨琴が一番よかった」と評価してくださり又「一生懸命弾いている姿に感動した」との声に、まだまだ技術的には未熟でしたが、心を込めて演奏しようと誓い合ったのでした。その後神戸市が勤労市民センターに須磨琴の講座を設け、半期毎に広報で募集してくださったので年々会員数が増えました。有り難いことでした。

天皇皇后両陛下、宮様方にもお聴き頂き、度々幸せな思いも味わわせて頂きました。

平成８年、保存会の精神的支柱であり、最愛の夫であった義人和尚が突然他界し、すっかりうちひしがれて、とてもお琴は続けられないと



思いました。けれども保存会の方々や発足した須磨琴後援会の先生方のお励ましによって再び須磨琴に打ち込むことが出来るようになりました。お聴き下さった方が大変喜んでくださり「胸が一杯になって涙が出た」「感動した」とのお言葉を頂く度、須磨琴に取り組んできてよかったとしみじみ思います。

私たちは古典の伝承だけでなく、現代にも通じる一絃琴音楽の確立を目指してさまざまなことに挑戦しています。

未だ道半ばではありますが、千年の歴史を持ち、日本人の心に通う音色を持つ須磨琴を保存伝承する為、これからも命ある限り精進したいと思っています。



「大阪歯科大学六稜会」の近況

黒川森夫（70期）

長年の懸案であった大阪歯科大学六稜会は、平成５年２月６日、ＯＭＭビル東天紅において和田茂之会長（51期）のもと会員数75名、出席者31名を得て盛大に発足いたしました。

簡単な会則に従って役員を決め、毎年２月に総会と講演会を行い、平成12年２月第８回総会の席で和田会長から岡野博郎会長（61期）にバトンタッチされ現在に至っております。

一般に、講演会の講師は、厳しい財政が故に会員から選出され、また会場についても六稜会館設立以来ずっと使わせていただいており、大変助かっております。

さて、第14回大阪歯科大学六稜会は、今年２月26日（日）午前11時より六稜会館六稜ホールにて開催、総会後の講演会として発達障害児についてを演題に久保志摩氏（93期）が講演を行いました。久保氏は、歯科医師、社会福祉士、ヘルパー等の資格を持ち、医療従事者として発達障害児に真正面から取り組んでおり、障害児の受診する際の困難性について障害児を持つ母親の立場から、切々と語り、また、社会福祉士としての臨床現場での苦労等々感動的な講話に終始いたしました。

平成17年４月発達障害者支援法が施行、近年増加傾向にある発達障害児に対する国や地方自治体の支援がようやく始まったなか、それまでの久保氏の血のにじむような努力と献身的なボランティア精神に頭の下がる思いがすると同時に心からなる拍手を送って止みません。

以上、大阪歯科大学六稜会の近況を紹介させていただきました。会としての唯一の悩みは、ここ数年新入会員がなく、会員数が減少しつつあることですが、年一度の総会には必ず20名以上が出席、時には年甲斐もなく六稜精神に燃え、口角泡を飛ばして議論することもあって常に和気あいあいの雰囲気が漂っております。

今後共大阪歯科大学六稜会よろしくお願い申し上げます。



「六稜野球部ＯＢ会」のご紹介

ＯＢ会事務局長　岩田孝夫（93期）

現在、当ＯＢ会の連絡可能な会員は、500名余りで、５年を目処に会員名簿を更新しております。会長、副会長、事務局、並びに凡そ５期毎の幹事で幹事会を構成し、懸案事項の決定、活動の推進を行っています。

今では非常にしっかりとした組織力ですが、この形になったのは、15年ほど前です。「現役支援」「会員相互親睦」を目的に掲げ、それまで一部有志の方の寄付のみで行われていた運営を、会員による会費・寄付制とし、世代を超えた繋がりとなっております。

それでは次にＯＢ会の活動をご紹介します。一番の柱は、ＯＢの方々から会費・寄付のご協力をいただき、その中から年間100万円を現役に支援していることです。これは公立高校では並外れた金額であります。また、これ以外にも、特別な出費がある場合は寄付を募るわけですが、今年の春に行われた校庭の植木移設工事では、野球部として80万円近くを協力させていただきました。

ＯＢ会の行事としては、６月に総会・現役激励会を行っており、現役激励会では、ホテルの宴会場で現役とＯＢが一緒に会食し、夏の大会を前に、ＯＢ達がその思いを語り、現役選手は意気込みを語ります。そして最後にエールと校歌を斉唱し、彼らに六稜魂を注入します。また、東京でも支部総会が行われ、懇親を深めています。

その他、マスターズ甲子園にも参加し、若手・中堅を中心に、自分達が果たせなかった甲子園出場を目指し、再び硬球で野球をやっています。現在の野球部には、有望な１、２年生が多くおり、選抜の選考基準も秋季大会府下ベスト16以上になりました。また、石本現校長先生が大阪



夏の府予選、優勝候補の関大一高戦応援のＯＢ
４－３で完勝。於　7月14日　豊中ローズ球場

府高野連の会長の要職にあられます。この様な期待の持てる状況にありますので、皆様方の暖かいご声援も何卒宜しくお願い致します。

86期の皆さんからデジカメの寄贈

昨年、総会を担当した86期の方々より、同窓会にデジカメを寄贈していただきました。



同窓会では、各種行事の際、個人所有のカメラを用いて撮影をしていましたが、突然必要になることもあり、購入を検討していたところ、総会が終わった後で、幹事の方より寄贈の申し入れがあり、非常に喜んでいます。
早速色々なところで使わせて頂いています。

東タバコ店から閉店に際して寄付

現役の時には、お世話になった方は居られないと思いますが、昭和校舎の正門前にあった「東タバコ店」が、閉店されました。

ご遺族から、右のお言葉と共に同窓会に寄付をしていただきましたので、ご披露します。

東タバコ店（旧正門前）
父母死亡のため平成十六年四月をもって
閉店いたしました。昭和三十年頃から
約五十年にわたり皆様に御利用いただき
ありがとうございました。
心より御礼申し上げます。
遺族一同
北野高校同窓会事務局様

六稜グッズ

同窓会では、六稜の雰囲気がいっぱいの六稜グッズを用意しています。
同期会の記念品として、また机上に青春の思い出の品を置いてみてはいかがでしょうか。

『130周年六稜同窓会名簿』
B5判1016頁
3,000円
申込記号　MEI
（会員以外の方には配布できませんのでご了承下さい）



『六稜百三十年』
B5判127ページ
2,000円
申込み記号 130



『六稜会館・新校舎スケッチ』
絵：小森裕三氏(66期)
500円(10枚組)
申込み記号 PSS



『LAST SHOT』
写真：矢作教諭
500円(8枚組)
申込み記号 LST



『新旧校舎ポストカード』
写真11枚:昭和校舎
絵4枚：岡村隆久氏(77期)
1,000円(15枚組)
申込み記号 PSC



『昭和校舎タイル』
18×18cm　木枠化粧
5,000円
申込み記号 STL



「北野高等学校文化活動振興賞」（八木彰一郎賞）について

藤田秀昭（62期）

「北野高等学校文化活動振興賞」（八木彰一郎賞）の運営が62期から同窓会に移管されることになりました。

昭和58年９月、八木彰一郎君（62期）は伏見城南宮付近を歴史探訪中に交通事故により不慮の死を遂げられた。この事故は道路管理の京都市に責任があるとして、裁判となった。その時八木君側の弁護を担当したのが同期の山本次郎君であり、裁判は八木君側の勝訴となった。

八木君は北野在学中より歴史研究などに熱心で、大阪府下の高校社会科研究発表会で一位を獲得するなど極めて優秀な人であった。山本君は八木夫人紀子さんが持参された弁護士費用御礼を何とか意義ある活用方法が無いかと検討した結果、「北野高校生徒諸君の活発な文化活動の振興を図る事に活用しよう」と云う事となり、当時オーナー経営者であった62期同窓生達の協力も得て、本賞（通称　八木彰一郎賞）が昭和60年に誕生した。

以来今日まで約20年間、学校側と62期代表者の選考により、生徒個人ならびに文化部の優秀な活動に対し本賞を贈ってきた。この度62期代表より「本賞の趣旨を生かし、さらに生徒諸君の文化活動の幅を広げ、活発化を支援するために、本賞の運営・管理を六稜同窓会に移させて頂けないか。」との申し出があり、常任理事会で検討、また学校側とも協議の結果申し出を受け入れる事となった。

来年からは、学校側での選考、学校・同窓会両者による審議により受賞者を決定し、これまでどおり６月の「六稜祭」の日に授与されることとなる。

また今後は、本賞の趣旨にご賛同の同窓会員の方々からの寄付金もお受けしたいと思っているので、ご協力をお願いします。

文化活動振興賞受賞者

森田みず希
【授賞理由】　第７回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
全国大会　金賞　　アジア大会　銀賞

ショパン国際ピアノコンクールin ASIAはショパンコンクールへの推薦コンクールとして、国際レベルの優れた演奏家の発掘育成を目的に、ショパン音楽が、アジアへの普及を通じてポーランド・日本・アジアの文化交流の掛け橋になることを願い開催されているもの。

星波　綾
【授賞理由】　平成17年度第38回
論文・作文音楽鑑賞作文募集
〈作文の部　高等学校生徒の部〉
最優秀賞・文部科学大臣奨励賞

作文・高校生の部は応募総数1，087編、送付数119編

文芸部
【授賞理由】　部誌『極彩色の彩空想（いろあそび）』により第20回全国高等学校文芸コンクール〈文芸部誌部門〉
奨励賞受賞

百人一首の各首に想を得て、31文字の一つ一つを句の頭に据えて詩の世界を構築したもの。

高柳徹
【授賞理由】　第29回全国総合文化祭囲碁部門において大阪チームの副将として都道府県対抗戦全国第３位の成績を修めた功績により、大阪府高等学校芸術文化賞を受賞

第29回全国総合文化祭囲碁部門（2005．７．30青森）に大阪チームの副将として出場、都道府県対抗戦全国第三位の成績を修めたことが評価され、大阪府芸文連囲碁部会長の推薦により受賞。

文化活動助成金受賞者

授与団体：演劇部
【授与理由】：　現在３年生部員２名で活動中、少数部員ながら昨年度は校内において、二度にわたり一人芝居を自主上演し、成功させた。特に昨年12月の公演、一人芝居「伝説の英雄」では、セミナーハウスの一室を芝居小屋にしつらえ、企画・制作・作・演出・出演をすべてこなし、自治会からの援助費ゼロという悪条件下で、智恵を絞り工夫を凝らした独特の演劇空間を創り上げ、観る者に感動を与えた。

本年度6月にも公演を予定しており、より良い舞台を創りあげるためにも、活動制作費の支援として助成金を授与する。

以上の賞は平成18年６月11日　六稜祭にて贈呈されました

母校の窓

部活動活動状況

文化部・同好会：20団体活動状況

文芸……

■2006年度

今年も多くの新入生を迎え、現在部員７人で活動中。

６月の六稜祭では「北野文学」「幻」の新刊を発刊しました。

現在、好評だった「極彩色の彩空想（いろあそび）」に新メンバーで挑戦中です。

２月の文化芸術祭で配布を予定しています。

去年同様「幻」も配布予定です。

2005年度文化活動振興賞を受賞しました。

普段日陰の部活である文芸部にとって、とてもうれしい受賞です。

これからも地味にかつ精力的に活動していきたいと思います。

今後の活動の参考にいたしますので、部誌の感想、ご意見などがありましたら是非北野高校文芸部宛てにお寄せください。

E.S.S……

■2006年

Nice to meet you!

新部長の徳原です（＾＾）

ESSは毎週水曜日に、ＬＬ教室で活動しています。

活動内容は・・・一言で言えば、英語を使っていろいろなコトをしてます（笑）

現在は、１年生２名、２年生２名＋３年生で活動中です。

残念ですが、ＡＬＴのギスト先生とはもうすぐお別れです。しかし、新学期からはイギリスから新しいＡＬＴの先生がやってきます♪

８月に行われるワークショップで会いに行く予定です。お楽しみに（＾０＾）

また、２年生ｓは、スピーチコンテストへの出場も予定しております。

ガンバルゾー☆

北野で最も国際交流度の高い（？）ＥＳＳに、ぜひぜひ入部してねっっ！！待ってるよー

Let's enjoy together!!!

物理研究……

物理研究部は現在10人で活動しています。主な活動内容は、なぜかプログラミングが主になっています。

基本的に部員の自由にさせているので、したいことなら大抵何でもできます。

もし興味を持ったら、中央階段を上って２階のガラス張りの扉を抜けたところにあるLAN教室へ来て見てください。

化学研究……

2006年の2月に豊中市のサイエンスフェスティバルに参加し発表しました。

最近の研究内容、振動反応、燃料電池、ヨウ素デンプン反応、不動態、微小爆発です。

過去の研究内容は、光触媒、シャボン玉その他です（現在調査中です）。

また、近々、化学ラボを実施する予定ですので、中学生の方は奮ってご参加ください。

生物研究……

現在部員３年１名、２年４名、１年１名で、引き続き組織培養を中心に活動中です。

今後は、真性粘菌を使った実験など、さまざまな実験を行っていく予定です。

部誌「ＬＵＰＥ」40号を今年１月に発行しました。

郵送を希望される方は生物研究部までご連絡ください。

・六稜祭

「ピンホールカメラ」

「プラナリア・メダカの走性」

「原形質流動の観察」

地学研究……

★2006年に行った主な活動

*六稜祭で、年輪と気候の関係についての研究と、太陽の黒点観測結果を模造紙にまとめ、発表しました。

残念ながら年輪と気候の関係については、試料不足のために画期的な成果は得られませんでしたが、機会があれば再び調査したいと思っています。

今回の研究にご協力くださった先輩に感謝いたします。

また六稜祭では天文台を一般公開し、大勢の方にお越しいただいて、大変好評でした。

太陽の黒点観測は現在も続けています。月、惑星等も観測したいと思っていますが、部員が３年生のみのため、時間の都合上夜間の観測は難しい状況です。

わたしたちが卒業したあとは、地学研究部は部員がいないため活動することができません。

本校には素晴らしい天文台があるのに、十分に生かせないのが残念です。

美術……

４月

■球技大会

表紙作成（二年）

６月

■六稜祭

プログラム表紙作成（二年）

テーマ：ガラス階段

看板製作（三年）

テーマ：浮世絵

顔出し（二年）

テーマ：ヴィーナスの誕生

お客さんは予想以上にシャイでした。

連作（二年）
テーマ：モモ（ミヒャエル・エンデ著）
他己紹介
■修学旅行表紙作成（二年）
今年の修学旅行は北海道。メインはキタキツネです。
7月
■七宝焼
顧問の先生だって参加します。小さな窯だって一丁前に美術室の温度を上昇させます。
■陶芸
8月
■高校展

コーラス……

4月音楽系クラブ新入生歓迎会「スカボロー・フェア」
新入生歓迎会「空も飛べるはず」
6月六稜祭「めぐる季節」「ShadowLand」
[予定]
8月稜声会（OB会）との合同演奏会
2月文化芸術祭
コーラス部は現在2年生2名で活動しています。
・・・最早コーラスではなくデュエットですが。
その分、と言えるか判りませんが、歌唱力は結構上がっているのではないでしょうか・・・？

オーケストラ……

私達オーケストラ部は、1・2年生合わせて37人で活動中です。より美しい演奏ができるように日々練習に励んでいます。
活動日は、毎週月曜日～土曜日で、演奏会など大きな発表があるときは日曜日も活動しています。
http://www.geocities.jp/kitano_orch/
●オーケストラ部について
音楽とは何か。
北野高校のオーケストラ部は1932年創部の伝統あるクラブです。昔はオーケストラ部ではなく、"音楽部"だったんですが、吹奏楽部やコーラス部というように各ジャンルに分離して、オーケストラ部となりました。北野高校の有名な大先輩、鉄腕アトムなどで知られる手塚治虫氏も音楽部に入っていたことがあったそうです。
オーケストラというとすごく難しいというイメージがありますが、弦楽器（ヴァイオリンやチェロ）でも、管楽器（トランペットやフルート）でも、多くは高校から始めた初心者です。
もちろんオーケストラはとても難しいですが、みんなでいろいろ試行錯誤しながら頑張っています。
オケ部は学校の文化祭"六稜祭"を定期演奏会とし、2月の北野高校の音楽的な大イベント「音楽フェスティバル(北野高校文化芸術祭)」で学年合唱のオーケストラ伴奏などもします。百人を超える大合唱と共演するのは感動ものです。ほかのさまざまな演奏会や扇町教会での「音楽礼拝」などオケ部にしかないような体験なども通して、交響的な音楽を目指します。
●オケ部の活動内容
オケ部の活動内容は個人練習、パート練習、たまにパートのレッスン（それぞれの楽器の先生が来てくださいます）そして合奏、という感じです。
オケ部のＯＢ・ＯＧさんには卒業後もオケを続けておられる先輩方も多く、音楽監督Ｔ氏をはじめとする先輩方もたまに指導しに来てくださいます。
オーケストラ部は部員を随時募集しています！音楽室でいつも活動してるんで、少しでも音楽に興味のある方、音楽室のピアノに興味のある方、オーケストラってどんなんやろう？って思う方はどんどん見学に来てください！部員一同、お待ちしております。
●オケ部のパート
オーケストラ部には(当然のことながら)弦楽器はヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス、管楽器はフルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・トランペット・ホルンがあります。
そして、その中心的存在となるのが指揮者で、合奏を引っ張っていく重要な仕事です。

パート名	英語表記	部員数
ヴァイオリン1st	Violin1st(VnⅠ)	12
ヴァイオリン2nd	Violin2nd(VnⅡ)	
ヴィオラ	Viola(Va)	4
チェロ	ViolinCello(Vc)	5
コントラバス	Contrabass(Cb)	3
オーボエ	Oboe(Ob)	2
フルート	Flute(Fl)	3
ファゴット	Bassoon(Fg)	1
クラリネット	Clarinet(Cl)	1
トランペット	Trumpet(Tp)	1
ホルン	Horn(Hr)	1
指揮者	Conductor	先生など

●2006年の行事予定
6月11日(日)
第59回定期演奏会(六稜祭にて)
6月24日(土)親睦会
6月30日(金)ケンウッド生のお別れ会にて「アシタカせっき」
7月29日(土)～8月1日(火)滋賀県にて合宿
10月14日(土)高木和弘氏のリサイタルで共演＆一曲演奏「ハンガリー舞曲集第5番」
10月21日(土)体育大会にて得賞歌と校歌の演奏
111月3日(金)第一ブロック音楽祭
11月23日(木)大阪府高等学校音楽祭
12月中旬クリスマスコンサート(予定)
1月中旬扇町教会礼拝
2月9日(金)文化芸術祭舞台部門
●詳しくは
詳細はオーケストラ部ホームページに掲載されていますので、是非ご覧下さい。
http://www.geocities.jp/kitano_orch/

吹奏楽……

2月10日第七回北野高校文化芸術祭（メルパルクホール）
「キャンディード」「美女と野獣」
3月春季合宿（ヤマハミュージックキャンプ合歓の郷）
4月18日新入生歓迎コンサート（本

校多目的ホール）
「美女と野獣」
５月５日第９回定期演奏会（池田市アゼリアホール）
「アルメニアンダンス」「ＧＲ」ほか
６月11日六稜祭（本校多目的ホール

書道……

■2006年
書道部は、１年７人、２年10人と、前年より部員数は少なくなりましたが、毎週月曜日に書道教室で活動しています。
今は、文化芸術祭に向けて作品を制作中です。普段の活動では、書道教室の資料を使い、歴史上の有名な書家などの字を参考にそのテクニックを身につけ、個性ある自分の「字」が書くことを目指しています。
しかし、いまだに純粋な書道部員は少なく、合気道と兼部している部員だけでは、どうしても活動回数が少なくなってしまいます。
だから、興味を持った人はぜひ、書道教室までのぞきに来てください。

写真……

写真部は３年４人、２年３人、１年４人の計11人で楽しく活動しています。
今年は新しくデジタルカメラを買ったので、デジカメで撮った学校の風景などの写真を六稜祭で展示しました。
デジカメの新規参入により今年の体育大会は一味違う写真がみれるかも・・・!?
これからも太く長く活動を続けていきたいと思います。
部員も募集してますので、よろしくお願いします。

演劇……

2006年の６月23,24日には『六稜祭別冊付録公演』を行いました。このときは二人芝居です。この芝居では前回に引き続きセミナーハウスの和室を改造して見事劇場と呼べる代物になりました。初夏の暑い時期に1時間半の公演となりスタッフや先生方のも多大な苦労をかけながらも無事公演することができました。
この一年弱、先生方やスタッフに協力していただいた結果、どの公演も無事成功しました。手伝ってくれたみんな、応援に駆けつけてくださった先輩方に本当にありがとうございました。
残念ながらただいま部員0名です。次回公演等すべて未定です。

新聞……

現在活動休止中

放送……

◎2005年
私達放送部は人数こそ少ないですが、そんな事をはねとばすくらいの素晴らしいパワーを秘めたクラブです。まだまだ発展途上中で大変な事もしばしば・・・。でも持ち前の明るさと努力、そして何より部員の協力でたくさんの修羅場をくぐりぬけ、ひとまわりもふたまわりも大きくなりました。これからも、多様なニーズに答えられるような「頼れる放送部」を目指して頑張ります!!!
もちろん部員も募集中！何かもしくは誰かの為に何かしたいと、心がくすぶっているあなた！！放送部に来ませんか？大歓迎です☆
待ってま～す（☆☆）／

映画研究……

活動休止中

囲碁・将棋……

現在、部員７名で活動中です。
再び強いクラブを作るためにあなたの力が必要です。
あなたも、囲碁・将棋を始めてみませんか？
わが部では、見学や入部はいつでもできますので、気軽に見に来てください。
月に１度はＯＢさんと、六稜会館にて囲碁を打たせてもらっています。
活動場所：ＬＡＮ教室活動時間：昼休み、火・水・木の放課後です。
最新情報2006年5月
大阪府高等学校囲碁選手権女子個人優勝→全国大会へ

漫画研究……

園芸……

■2005年
本年は部員がかなり増え、17人になりました。
しかし、女子が少ないので、女子部員を随時大募集しています。(特に１年生の方！！)
去年は、アネモネ・チューリップなどの栽培に加え、作ったサツマイモを、調理して食べました。
今年は花に加え、ニンニクの栽培などを計画しています。
北野高校をたくさんの花で埋め尽くすのに協力してくれる方は、ぜひ園芸同好会へ足を運んでください。
(入部希望者は、ＬＬ教室の加藤先生・野口先生まで)

フォークソング……

■2006年１月・・・"文化芸術祭のオーディション"に参加！
二年部員１人入部！
■４月・・・新入生歓迎演奏会に参加（サヨナラバス/ゆず、夏色/ゆずなどを演奏）
■５月・・・新入生が３人入部！総部員数13人に！
■６月・・・六稜祭に参加（新トレ前にてAM11：00/HY、また会える日まで/ゆずなど計4曲演奏）
（六稜会館にてキューティーハニー/倖田來未/、GREENDAY/マイノリティ、など計３曲演奏）
■７月・・・３年生引退。１年３人、２年５人の計８人に。

ストリートダンス……

こんにちは。ストリートダンス同好会です！
私たちの同好会は2004年の11月に立ち上がりました。現在、部員10人[１年２人、２年８人（男子２人）]で楽しく活動しています。あまり発表の機会はありませんが、今年の六稜祭では、三回公演し、どれも大盛況でした。好評につき、後日昼休みに追

加公演もしました。これから、イベントやコンテストなどにも積極的に参加したいと思います。目標は部にすることです!!

運動部：22団体活動状況

陸上競技

今年も快調に走り続ける陸上部は、それぞれに目標を持ってがんばる部員の中、日々練習に邁進しています。今年度はより多くの選手が中央インターハイに出場し、昨年に続いて近畿インターハイ進出者も出ています。いい雰囲気と流れの中で、これからの更なる飛躍を目指して切磋琢磨していきたいと思います。

部員、マネージャーともに随時募集中なので、興味のある人は、ぜひ見学に来てください！

試合結果

■2006年

インターハイ大阪大会

男子

200m
400m（準決勝進出）
1500m
110mH

走高跳

4×100mR（準決勝進出）
4×400mR（準決勝進出）

槍投

女子

100m
200m
400m
800m
1500m

走高跳（決勝進出）

4×100mR（決勝進出8位）
4×400mR（決勝進出5位近畿日出場）

インターハイ近畿大会

女子

4×400mR

大阪選手権

男子

200m
400m（準決勝進出）
4×400mR

女子

400m

走高跳

4×100mR
4×400mR
（決勝進出7位近畿選手権出場）

水泳

■2006年

・東大阪大会（4月）於：東大阪室内プール

女子200m個人メドレー9位
女子50m自由形3位
男子50mバタフライ4位
女子100m平泳ぎ5位
女子200mリレー3位

●現在、部員数41人で活動中です。今年も有望な1年生が入ってくれました。

1年23人、2年18人で毎日、自己ベスト更新のためがんばっています。

器械体操

■2006年

大阪府春季大会（4月）
女子2部団体総合6位
堺春季大会（5月）
女子中級個人総合5位
種目別平均台2位

現在、2年生男子4名、女子5名、1年生男子4名、女子3名、マネージャー1名で活動しています。ほとんどの部員が初心者で何も分からない状態からのスタートでしたが、OB・OGさん方や先生のご指導のおかげで日に日に上達しています。男女の仲もとてもよく、大会でより高い得点を取れるよう毎日厳しい練習に耐え頑張っています。今後とも、僕たち器械体操部をよろしくお願いします。

柔道

■2006年

北地区学年別大会（1月21日）
3人戦1年他校との合同チームリーグ戦敗退
2年リーグ戦敗退
第24回大村杯争奪高校生柔道大会大阪大学石橋（3月25日）
5人戦3人で出場リーグ戦敗退
全国大会大阪府予選北地区大会団体（4月29日）
5人戦3人で出場
1回戦北野3－2桜塚
2回戦北野0－4英真
ベスト8
全国大会団体予選中央大会（6月11日）
1回戦北野2－3大商学園
全国大会個人予選（6月18日）
－66キロ級竹中一回戦敗退
－73キロ級阪口一回戦敗退
村山二回戦敗退
天高戦（7月1日）
点取り7人戦4－1天王寺の勝ち抜き
7人戦引き分け代表戦で北野優勢勝ち

部員は1年生3人、2年生3人（7月14日現在）
活動時間平日15：30～17：30
土曜日13：30～16：00

昨年に比べて部員が倍になりました。OBさん方との練習でもっと精進していこうと思いますので練習へのご参加どうぞよろしくお願いします。

剣道

★ごあいさつ★

私たち北野高校剣道部は7月現在、1年生男子11人・女子6人、2年生男子8人・女子1人の26人で活動しています。今年6月に3年生が引退し、2年生が中心となって活動するようになりました。試合は年に3回ある公式戦、そしてその他練習試合や招待試合等あり、特に由緒ある天高戦に加え今年は大手前戦も復活しそれらで好成績をとることを目標として日々稽古に励んでいます。

夏には福井県武生市で4泊5日の合宿（武生高校・北野高校）があり、みんなの結束がより固くなりました。今年からは、12月末にある清教杯に参加するようになりました。まだ不安なところもありますが、さらに良い成績を残せるように頑張ります。

石川先生，先輩方、OBやOGの方々、

今後ともご指導よろしくお願いいたします。

■2006年

高校総体大阪予選

［個人］男子３回戦敗退
　　女子３回戦敗退

［団体］男子１回戦敗退
　　女子１回戦敗退

合氣道

■2006年

今年も多くの新入部員を迎え、７月現在、部員は２年17人、１年15人で皆仲良く活動しています。

北野高校合氣道部は、天之武産合氣道々場に所属し、時間に余裕が出来たものは、練習後に道場での練習にも参加させていただいています。

今学期は、阿部醒石師範にも校内で何度か稽古をつけていただきました。また、７月に行われる高松東高校との合同合宿や、春日丘高校との合同練習など他校との交流も行っています。六稜祭での演武が終わったため、二年生は昇段試験に一年生は演武に向けて技の上達など励んでいます。

硬式野球

■2006年度

ＶＳ出雲　７－９×
　　５－０○
ＶＳ茨木　10－１○
　　14－３○
ＶＳ泉南（春季大会一回戦）
　　13－３○（６回コールド）
ＶＳ飛翔館（春季大会二回戦）
　　７－５○
ＶＳ大塚（春季大会３回戦）
　　２－４×
ＶＳ渋谷　４－３○
　　５－３○
ＶＳ三島　２－４×
　　２－４×
ＶＳ市岡（定期戦）
　　３－10×
ＶＳ泉陽　２－３×
　　４－２○
ＶＳ箕面東　１－14×
　　５－14×
ＶＳ豊島　６－５○
ＶＳ県立尼崎
　　２－９×
　　１－２×
ＶＳ枚方津田
　　１－６×
　　３－０○
ＶＳ園芸　14－０○
ＶＳ清友　３－０○

ＯＢ・父兄の方々を始め、本当に多くの方々にご支援・ご声援をいただき、選手一同心より感謝しております。

３年生はこの夏の大会が最後となりますが、悔いの残らぬよう、激戦区の大阪大会を力の限り戦い抜き、偉大な諸先輩方に少しでも近づけるよう、甲子園を目指して一戦必勝の気持ちを持って戦います。

大好きな野球を通じて巡り会った掛け替えのない仲間とともに、一日でも長くこのチームで野球が出来るよう「精一杯を超える」プレーをして、皆様に恩返しをしたいと思いますので、これからも引き続き、暖かいご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。

サッカー

ラグビー

■2006年

＜春季大会＞棄権

＜定期戦＞

６/17　０-65洛北×

現在部員数は３年生５人、２年生10人、1年生９人、マネージャー３人の計27人です。１年生が入部し部員数が増えたので、活気に溢れた雰囲気の中で練習をしています。

７／２に行われたＯＢ会ではＯＢの皆様から激励を頂き、選手、マネージャー共々そのお気持ちに応えるべく、意識を高めて日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。夏の合宿を経て、目標である"花園"を目指して頑張っていきたいと思いますので、今後とも応援宜しくお願致します。

男子バレーボール

■2006年

春高予選
　○２－０　大教大平野（不戦勝）
　●０－２　市岡

西田杯予選
　●１－２　摂陵
　○２－０　箕面東
　○２－０　東淀工業

春の部別
　○２－０　大阪電通大
　○２－０　初芝
　○２－０　金光大阪

豊能地区大会予選
　○２－０　大教大池田
　○２－０　池田北

豊能地区大会決勝（三位）
　○２－０　東豊中
　●０－２　池田
　○２－０　大教大池田

インターハイ予選
　○２－０　日根野
　●０－２　太成学院

天高戦
　○２－１　天王寺

男子バスケットボール

4.29　総体予選一回戦
　○82－75　摂陵

4.30　総体予選二回戦
　○96－66　追手門学院

５.３　総体予選三回戦
　●47－82　清風南海

男子ハンドボール

■2006年

春季大会

北ブロック大会

５月３日

準々決勝
　●９－16香里丘

女子ハンドボール

第57回高校新人ブロック大会

○16－６　茨木
　○24－12　東豊中
　●12－20　金蘭会

■2006年

・春季インターハイ予選

ブロック大会
●10－11春日丘
○12－5東淀川
●7－14淀商業
・天高戦
△5－5（新人戦）
●12-14（現役戦）

男子テニス……

■2006年度
４月
春季大阪総体
シングルスベスト64
ダブルス本選出場
６月
春季赤坂杯
シングルスベスト４
男子テニス部は現在２年７人、１年４人の計11人で月曜日から日曜日まで毎日活動しています。本戦出場者もふえて、僕たちは本気で近畿大会出場を狙っています。
最後に、これからも男子テニス部をよろしくお願いします。

卓球……

■2006年
春季高校選手権
男子団体１回戦
●２－３摂陵
男子ダブルスベスト64
男子シングルス４回戦
国体予選
男子シングルスベスト32
近畿大会を目指して猛練習中です!!
活動日
月曜日・隔週木曜日がトレーニング
火曜日・隔週木曜日が剣道場
水曜日・金曜日がセミナーハウス

山岳……

応援……

活動休止中

ソフトボール……

２年間休部していたソフトボール部が復活しました!!
現在は１年生２人で頑張って活動しています。
平日には基礎を中心に練習し、休日には他校へ行って合同練習をしています。
人数は少ないですが、やさしいＯＧの方々も色々手助けをしてくださいます。
これからは人数をもっと増やして〝北野ソフトボール部〟をつくっていこうと思いますので、
応援よろしくお願いします！！

女子バレーボール……

■2006年
春高予選
●０－２　門真なみはや
春季部別（２部リーグ戦）
○２－０箕面
○２－１夕陽丘
○２－１茨木
２部優勝１部昇格
豊能大会
●０－２箕面自由学園
●１－２教育大池田
近畿大会予選
●１－２東住吉
私達は限られた時間の中で日々の練習を大切にして、先生の熱心な指導の下、部員２年５人、１年６人、マネージャー２人で頑張っています。
土日は強豪チームと練習試合をさせてもらい、少しずつ力をつけています。また、お互いを高め合い、一球でも多くのボールを上げ、スパイクにつなげられるようなプレーを目指しています。応援よろしくお願いします。

女子バスケットボール……

メンバーは①年生10人、②年生4人でとても活発なクラブです。
なので、練習でもみんな楽しく仲良く活動しています。
けれど指導者がいないため、メニューを自分たちで考え、いつもがんばっています。
OBさんやOGさんもときどき参加してくれるし。
何より熱心な池田先生が時々来てくださるおかげで、密度の濃い練習ができています。

女子テニス……

■2006年度
☆春季総体本戦出場ダブルス1組
シングルス４人
☆大阪春季団体ベスト16
☆春季赤坂杯（単）本戦出場4人（1人優勝）

バドミントン……

バドミントン部は現在、２年生19人＋１年生19人で練習しています。
月～水の朝錬・火、木、金の昼錬に加え、2004年９月からは遂に放課後体育館での練習も始まり、部員一同常に上のレベルを目指しています。
土日はコーチに来てもらって、技術の向上に励んでいます。
また、たくさんのＯＢ・ＯＧの方々が練習に参加して下さっています。
今後とも、僕達バドミントン部をよろしくお願いします!!

2006年７月18日現在
北野高校H．Pより

進路状況

国立	
北海道大学	6
東北大学	1
筑波大学	4
東京大学	4
東京海洋大学	1
一橋大学	1
横浜国立大学	2
富山大学	1
福井大学	1
信州大学	3
岐阜大学	1
名古屋大学	2
三重大学	1
滋賀大学	1
京都大学	43
京都教育大学	1
京都工芸繊維大学	8
大阪大学	47
大阪外国語大学	6
神戸大学	34
奈良女子大学	7
和歌山大学	1
鳥取大学	2
岡山大学	4
広島大学	3
徳島大学	2
九州大学	1
合　計	188

公立	
兵庫県立大学	2
国際教養大学	1
名古屋市立大学	1
滋賀県立大学	1
京都市立芸術大学	2
京都府立大学	3
京都府立医科大学	1
大阪市立大学	14
大阪府立大学	14
神戸市外国語大学	1
奈良県立医科大学	2
和歌山県立医科大学	1
合　計	43

私立	
青山学院大学	1
北里大学	1
慶応義塾大学	12
国際基督教大学	1
上智大学	2
成城大学	1
創価大学	1
中央大学	9
津田塾大学	3
東京農業大学	1
東京理科大学	13
東洋大学	1
日本獣医畜産大学	1
日本女子大学	3
法政大学	1
武蔵野美術大学	1
明治大学	1
立教大学	1
早稲田大学	21
愛知医科大学	1
豊田工業大学	1
京都外国語大学	2
京都産業大学	1
京都女子大学	11
京都精華大学	1
京都橘大学	1
京都ノートルダム女子大	1
京都薬科大学	20
同志社大学	94
同志社女子大学	10
仏教大学	2
立命館大学	100
龍谷大学	3
藍野大学	1
大阪医科大学	1
大阪大谷大学	2
大阪工業大学	1
大阪歯科大学	2
大阪薬科大学	19
関西大学	74
近畿大学	18
摂南大学	3
梅花女子大学	1
関西学院大学	89
甲南大学	16
神戸学院大学	4
神戸女学院大学	4
神戸女子大学	1
神戸薬科大学	13
兵庫医科大学	1
武庫川女子大学	11
川崎医科大学	1
徳島文理大学	1
立命館アジア太平洋大	2
合　計	588

短期大学	
京都市立看護短	1
合　計	1

準大学等	
気象大学校	1
合　計	1

専修学校等	
CATミュージックカレッジ専	1
合　計	1

就職	
就職合計	0

種別	
国立大学	188
公立大学	43
私立大学	588
短期大学	1
準大学等	1
専修学校等	1
就　職	0
合　計	822

教職員異動

・退職

校長　**中垣　芳隆**

・転出

教諭　理科　**池田　雅文**
豊中高等学校教頭へ

教諭　数学　**三輪　雅**
四条畷高等学校へ

教諭　英語　**下村　孝夫**
牧野高等学校へ

教諭　英語　**野口　隆子**
高津高等学校へ

主査　**岸　良弘**
茨木工科高等学校へ

・着任

校長　**石本　正明**
和泉高等学校長より

教諭　数学　**田邊　史人**
新採用

教諭　理科　**谷口　靖子**
和歌山県より新採用

教諭　英語　**葛山　景**
豊島高等学校より

教諭　英語　**高砂　千聡**
池田北高等学校より

常勤講師　英語　**徳田　昭継**
本校非常勤若年特別嘱託より

主査　**海野　俊弘**
旭高等学校主査より

首席　数学　**三橋　賢市**
英語　**加藤　悦子**
指導教諭　化学　**原田公彦**
（首席・指導教諭はいずれも
本校教諭より）

おくやみ

博本正和先生（数学科S30～H3）が平成18年7月8日、ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

おわび

12頁　野口藤三郎様（53期）を「憲三郎」様と違えていました。
また松岡信道様(111期)に、「氏」が抜けていました。
お詫びいたします。

六稜同窓会133周年総会　開催のご案内

日時：2006年10月29日(日) 13時から

場所：北野高校　多目的ホール・六稜会館

総会　　多目的ホール

12：00　　受付開始

13：00～14：45　　総会

各種議事・活動報告

卓話

懇親会及び
118期歓迎会

六稜会館３Ｆホール

15：00～16：30

参加費　3,000円

（但し、事前払込は2,900円）

62期(S24・S25卒)以前と、118期(H18卒)の方は、参加費無料です。

幹事期：87期

［お願い］　ご出席の方は、同封の返信はがきをお送りください

卓話紹介「生体肝移植：命のお贈り物を支える」

生体肝移植は1989年にオーストラリアで初めて成功し、1990年代に医療技術はあっても脳死臓器提供が進まない日本で急速に発達し、これまでに日本で約3000例の生体肝移植が行われています。

はじめは親から子供へという関係でしたが、技術の進歩とともに大人の患者さんも手術を受けることができるようになりました。一方、それによるさまざまな社会的な問題も生じています。今回は、生体肝移植の進歩を支えてきた医療技術・生命科学と生体肝移植を巡る社会的問題についてお話ししていただく予定です。



卓話者：江川裕人さん（87期）

北野高校から京都大学医学部へ。同大学院研究中に京都大学生体肝移植立ち上げに参加、米国留学。帰国後、京都大学第２外科、同移植外科を経て、現在、同肝胆膵・移植外科、臓器移植医療部助教授。医学博士。

日本の肝移植の半数以上に関わり、外科的手術手技だけでなく広く免疫学、社会医学、医学教育の見地から日本を代表する肝臓移植医です。

趣味は、山歩きとマウンテンバイク。

表紙写真について

六稜マークは、『一中』の文字をデザイン化したものと言われています。

北野高校の校庭には、このマークに似た「ハナニラ」が沢山あり、改築中も園芸クラブの諸君が、守ってくれて、改築が済んだ現在、校庭のあちこちで可憐な花を咲かせています。誰が付けたか「六稜草」とも呼ばれ親しまれています。

左は今年の四月、昭和世代には懐かしい運動場の楠と共に撮りました。右に、現在は使用する者がいない帽子、上に、昭和校舎の六稜マーク。それに、現役生徒には、文化活動において成果を挙げた生徒や、ボランティア活動など目立たないところで活躍した生徒に学校から贈られるプレゼント、最近では、ケント来日時のホストや文化芸術祭での優秀作品・団体などに贈られました。『花ニラバッジ』と呼ばれています。

六稜会報
No.47

発行日　2006年9月1日
発行者　山本次郎
編集委員　岡田一彦
　　壽榮松正信

発　行　六稜同窓会　http://www.rikuryo.or.jp/
〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内
phone.06-6306-0374　fax.06-6306-1335
e-mail.office@rikuryo.or.jp　郵便振替.00990-4-68025

デザイン　株式会社ひかり工房
印　刷　〒556-0004　大阪市浪速区日本橋西2-2-11
phone.06-6641-6011　fax.06-6641-6012

事務局　月・水・金(祝日は休)　10:00～17:00　北野高校内